書評 201901

黒田目線
黒田 有 著
毎日新聞出版
初恋、大阪への愛着、芸人の矜持、独身男の本音…。人気芸人・メッセンジャー黒田の、だしの染みたエッセイ 47 本を収録する。『毎日新聞』大阪版の連載コラムを改題、加筆して単行本化。

2018:10./ 204p
978-4-620-32549-1
本体 ¥1,300+税

産経新聞 2019/01/05

トリノトリビア～鳥類学者がこっそり教える野鳥のひみつ～
川上 和人、マツダ ユカ、川上 和人 著
西東社
スズメはほおの斑点が大きいほどモテる。ハトはちゅうちゅう水を飲む。カラスは巣に新建材を使う…。身近だけれどつい見過ごしがちな野鳥たちの驚きの生態を、4 コマ漫画とともに楽しく、わかりやすく解説する。

2018:10./ 191p
978-4-7916-2783-7
本体 ¥1,200+税

産経新聞 2019/01/05

猫がいなけりゃ息もできない
村山 由佳 著
ホーム社
軽井沢に終の住まいを見つけた著者。当初 2 匹だった猫は、気づけば 5 匹に…。愛猫<もみじ>とのさいごの 1 年をリアルタイムで綴ったエッセイ。ホーム社文芸図書 WEB サイト『HB』連載を加筆・修正。

2018:10./ 223p
978-4-8342-5324-5
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2019/01/05

ニッポン 2021-2050～データから構想を生み出す教養と思考法～
落合 陽一、猪瀬 直樹 著
KADOKAWA
人口・産業、統治構造、人材…。山積する社会課題を解決するために、次の時代をどう描くか? メディアアーティスト・落合陽一と作家・猪瀬直樹が、「2021」以後の日本のビジョンについて議論する。

2018:10./ 191p
978-4-04-107186-1
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2019/01/06

救済
長岡 弘樹 著
講談社
放火犯として刑事に疑われた知的障害のある少年。夏休みの予定を時間割として書くことに容疑と関わりが? 「夏の終わりの時間割」ほか、心を揺さぶられる短篇 6 篇を収めたミステリ集。『メフィスト』掲載を単行本化。

2018:11./ 201p
978-4-06-513650-8
本体 ¥1,450+税

産経新聞 2019/01/06

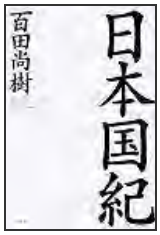
- ご注文の際には, タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2019 年 1 月時点での税抜価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 [学術情報ソリューション事業部 和書企画グループ]
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 10-10
TEL.03-6367-6077 FAX.03-6367-6207 URL kw.maruzen.co.jp

暴走トランプと独裁の習近平に、どう立ち向かうか?(光文社新書　974)
細川　昌彦 著
光文社
国際秩序は米中挟み撃ちの危機に! これまでの米国問題と中国問題を振り返り、その大局を見極めることで、今後の国際秩序の立て直しのために日本が進むべき針路を考える。『日経ビジネスオンライン』連載等をもとに新書化。

産経新聞 2019/01/06

2018:11./ 258p
978-4-334-04380-3
本体 ¥860+税



日本国紀
百田　尚樹 著
幻冬舎
神話とともに誕生し、万世一系の天皇を中心に、独自の発展を遂げてきた日本。2000年以上にわたる国民の歴史と激動にみちた国家の変遷を、「古事記」「日本書紀」をはじめ、多くの史書を参考に記した壮大なる叙事詩。

産経新聞 2019/01/06

2018:11./ 509p
978-4-344-03385-6
本体 ¥1,800+税

ぼくのたび
みやこし　あきこ 著
ブロンズ新社
夜、ベッドに入って目を閉じる。ぼくは出かける。夢の中で。飛行機に乗って、知らないまちから、知らないまちへ。自由に行きたいほうに進む…。実力派作家がリトグラフで描く絵本。

産経新聞 2019/01/06

2018:11./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-89309-647-0
本体 ¥1,500+税

異論のススメ正論のススメ
佐伯　啓思 著
エイアンドエフ
ほぼ 10 年の日本社会の動向を、右翼でも、左翼でもなく、「保守」の立場から論じる。『朝日新聞』連載のコラム「異論のススメ」と『産経新聞』連載のコラム「日の蔭りの中で」を書籍化した、日本を考えるための一冊。

産経新聞 2019/01/06

2018:11./ 425p
978-4-909355-07-2
本体 ¥1,700+税

日本の「中国人」社会(日経プレミアシリーズ　393)
中島　恵 著
日本経済新聞出版社
住民の大半が中国人の団地、人気殺到の中華学校、あえて帰化しないビジネス上の理由、グルメ中国人に不評な人気中華料理店…。もはや鳥取県の人口を遙かに超える日本在住の中国人の日常に潜入したルポルタージュ。

産経新聞 2019/01/06、朝日新聞 2019/01/06

2018:12./ 231p
978-4-532-26393-5
本体 ¥850+税

エリザベスの友達
村田　喜代子 著
新潮社
夕方になると、どこかへ帰ろうとする母。いったいどこへ帰っているのか-。認知症の老女たちのなかに宝石のように眠る戦中戦後の輝かしい記憶。その豊かな世界を描く長篇小説。『新潮』掲載をまとめて単行本化。

産経新聞 2019/01/06、朝日新聞 2019/01/06、毎日新聞 2019/01/20

2018:10./ 235p
978-4-10-404105-3
本体 ¥1,800+税

手帳と日本人～私たちはいつから予定を管理してきたか～(NHK 出版新書 570)
館神 龍彦 著
NHK出版
明治初期に生まれて以来、機能的な変貌を遂げつづける手帳は、日本人の時間感覚や仕事観を映しだす鏡。小さな冊子に秘められた、おどろきの歴史と文化を解き明かす。

産経新聞 2019/01/06、日本経済新聞 2019/01/19

2018:12./ 189p
978-4-14-088570-3
本体 ¥780+税

アベノミクスが変えた日本経済(ちくま新書 1316)
野口 旭 著
筑摩書房
「悲観の罠」から抜けだして、日本はあるべき成長軌道へ-。アベノミクスの正しさを論理とデータによって示しつつ、さらに、デフレ脱却が完遂されたあかつきには必要となるアベノミクスからの「出口戦略」を提示する。

産経新聞 2019/01/12

2018:3./ 249p
978-4-480-07123-1
本体 ¥820+税

東京輪舞(ロンド)
月村 了衛 著
小学館
田中角栄邸の警備をしていた警察官・砂田修作は、公安へと異動し、「ロッキード」「地下鉄サリン」など、数々の事件と関わっていく-。昭和・平成の裏面史を「貫通」する公安警察小説。『週刊ポスト』連載を加筆し単行本化。

産経新聞 2019/01/13

2018:10./ 521p
978-4-09-380106-5
本体 ¥1,800+税

不良老人の文学論～Essays on Literature & Other Subjects 2004-2018～
筒井 康隆 著
新潮社
大江健三郎、ウンベルト・エーコなど、世界文学最前線から現代日本の気鋭作家までを縦横に論じ来り、小松左京、丸谷才一らを悼み、自作裏話を打ち明け、宗教や老いをも論じ去る。巨匠・筒井康隆の芳醇かつ物騒なるエッセイ集。

産経新聞 2019/01/13

2018:11./ 297p
978-4-10-314533-2
本体 ¥1,700+税

安倍官邸 vs.NHK～森友事件をスクープした私が辞めた理由～
相澤 冬樹 著
文藝春秋
「森友事件」をスクープした NHK 記者が、異動を命じられた! 政権を揺るがす疑惑と巨大組織内に強まる圧力-その狭間で最後まで戦い続けた著者が、森友事件の真の問題点を明らかにする。

産経新聞 2019/01/13

2018:12./ 302p
978-4-16-390957-8
本体 ¥1,500+税

鼓に生きる～歌舞伎囃子方 田中佐太郎～
田中 佐太郎、氷川 まりこ 著
淡交社
歌舞伎の上演に欠くことができない「歌舞伎囃子」。男子の後継者に恵まれなかった父の遺志と芸を継承し、次代へとつなげた田中佐太郎が、女人禁制の歌舞伎界に捧げた波乱万丈の半生を語る。月刊『なごみ』連載を元に単行本化。

産経新聞 2019/01/13

2018:10./ 187p
978-4-473-04275-0
本体 ¥2,500+税

MARUZEN-YUSHODO

自分流～駅伝・帝京大の育成力～
中野　孝行　著
ベースボールマガジン社
雑草軍団を学生トップクラスに育てる「中野マジック」とは。高校時代に目立った実績を残していない選手を、大学の 4 年間でしっかり育成することで知られる帝京大学駅伝競走部の監督が、個とチームの育て方を紹介する。

産経新聞 2019/01/13

2018:12./ 199p
978-4-583-11198-8
本体 ¥1,500+税

昭和のお店屋さん
藤川　智子　著
ほるぷ出版
昭和のはじめごろ、日本はどんな様子だったのか? パラソル・ショール店、荒物屋、美容院、乾物屋、喫茶店、駄菓子屋…。ちょっと昔の日本のお店屋さんと人々の生活を、ていねいな絵で詳しく紹介する。

産経新聞 2019/01/13

2018:12./ 39p
978-4-593-56338-8
本体 ¥1,600+税

維新と敗戦～学びなおし近代日本思想史～
先崎　彰容　著
晶文社
これから日本はどうなるのか? 日本人らしさとは何か? 福澤諭吉から丸山眞男、橋川文三、網野善彦まで 23 人の思想家が、自分の喫緊の問題として悩んだ、近代化と戦争、維新と敗戦を軸に、日本の 150 年を振り返る。

産経新聞 2019/01/13

2018:8./ 311p
978-4-7949-7053-4
本体 ¥2,000+税

捨てないパン屋～手を抜くと、いい仕事ができる→お客さんが喜ぶ→自由も増える～
田村　陽至　著
清流出版
借金を抱えたパン屋を再建、年商 2500 万円になった著者が、「手を抜いて→良い仕事をして→ゆとりを手に入れる方法」を伝授。パンづくりを例に古きに学ぶ方法や、仕事と自分をブラッシュアップし続ける方法なども語る。

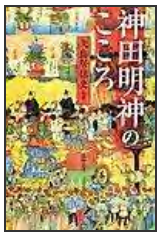
産経新聞 2019/01/13

2018:11./ 218p
978-4-86029-481-6
本体 ¥1,500+税

知ってる?郵便のおもしろい歴史(ちしきのもり)
郵政博物館　著
少年写真新聞社
郵便の歴史をめぐる旅に出発しよう! のろしや飛脚などの昔の通信方法からヨーロッパと日本の近代郵便、そして現代の郵便まで、通信と郵便がどのように発展したのかを解説する。

産経新聞 2019/01/13

2018:11./ 142p
978-4-87981-656-6
本体 ¥1,600+税



神田明神のこころ
大鳥居　信史　著
春秋社
江戸総鎮守として、将軍はじめ江戸の庶民たちから親しまれた神田明神。創建 1300 年を迎える、魅力の明神さまと神田祭のことなど、神田明神と神道のこころを伝える。宮司へのインタビュー対談も掲載。

産経新聞 2019/01/13、産経新聞 2019/01/27

2018:12./ 7p,219p
978-4-393-29950-0
本体 ¥1,600+税

医師に「運動しなさい」と言われたら最初に読む本
中野　ジェームズ修一、田畑　尚吾　著
日経BP社
健康診断に引っかかり、「運動しましょう」と言われた人に向けて、フィジカルトレーナーが医学的に正しい、効率的な運動法を紹介。エクササイズ解説動画閲覧用 ID とパスワードも掲載。

2018:10./ 213p
978-4-296-10023-1
本体 ¥1,300+税

産経新聞 2019/01/19

アラバスター～オリジナル版～
手塚　治虫　著
リットーミュージック
手塚治虫の“ダークサイド”を作品に昇華させた“黒手塚”の代表作「アラバスター」。1970?71 年に『週刊少年チャンピオン』に連載された当時のオリジナルの構成で、カラー頁や扉絵も含めて初単行本化。関連資料も収録。

2018:12./ 527p
978-4-8456-3325-8
本体 ¥3,800+税

産経新聞 2019/01/19

刀と傘～明治京洛推理帖～(ミステリ・フロンティア 102)
伊吹　亜門　著
東京創元社
慶応 3 年。幕末の京都で若き尾張藩士・鹿野師光は、後に初代司法卿となる江藤新平と邂逅する。2 人の前には、時代の転換点ゆえに起きる事件が次々に待ち受けて…。『ミステリーズ!』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

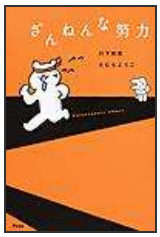
2018:11./ 259p
978-4-488-02006-4
本体 ¥1,700+税

産経新聞 2019/01/20

すきな映画を仕事にして
中野　理惠　著
現代書館
振り返ると、毎日がお祭り騒ぎのように慌しく過ぎ、喧嘩ばかりした恥をかきっ放しの仕事人生だった-。映画配給会社・パンドラの社長が、自身の半生を瑞々しい筆致で綴る。ウェブマガジン『neoneo』連載を加筆し書籍化。

2018:10./ 206p
978-4-7684-7648-2
本体 ¥1,500+税

産経新聞 2019/01/20



ざんねんな努力
川下　和彦、たむら　ようこ　著
アスコム
「ガンバらない」ことで成果を得るには? 頑張ることが正しいとされるガンバール国を飛び出して、ガンバラン王国を冒険するミサキの物語を通して、頑張ることから自分を解放し、楽しみながら結果を出す方法を紹介する。

2018:12./ 251p
978-4-7762-1017-7
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2019/01/20

ぷらべん～88 歳の星空案内人河原郁夫～
冨岡　一成　著
旬報社
みずからをプラネタリウム弁士、“ぷらべん”と呼ぶ、88 歳の日本最高齢プラネタリウム解説員・河原郁夫。戦火をくぐり抜け、星一筋に歩んできた人生を、あますところなく描くノンフィクション。

2018:12./ 207p
978-4-8451-1565-5
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2019/01/20

町自慢、マンホール蓋 700 枚。～新・デザインマンホール 100 選～
池上　修、池上　和子　著
論創社
世界に例のない日本のサブカルチャー、マンホールデザイン。メッセージが明快でデザインが素晴らしい、100 枚のマンホールとその仲間たち全 700 枚を、オールカラー写真で紹介する。

産経新聞 2019/01/20

2018:11./ 229p
978-4-8460-1759-0
本体 ¥1,800+税

フェルメール～この一瞬の光を永遠に～
キアーラ・ロッサーニ、アンドレア・アレマンノ、結城　昌子　著
西村書店
名もない普通の人々のありふれた日常を、かけがえのない特別なものに変えたフェルメール。その謎に包まれた人生を、フェルメールの作品をもとに想像で綴る。アートな絵本シリーズ第 11 弾。

産経新聞 2019/01/20

2018:12./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-89013-992-7
本体 ¥1,800+税

キンモクセイ
今野　敏　著
朝日新聞出版
法務官僚の神谷が殺された。警察庁警備局の隼瀬は神谷が日米合同委員会に関わっていたこと、“キンモクセイ”という謎の言葉を残していた事実を探り当てるが…。警察インテリジェンス小説。『週刊朝日』連載を単行本化。

産経新聞 2019/01/27

2018:12./ 338p
978-4-02-251582-7
本体 ¥1,600+税

国家と教養(新潮新書　793)
藤原　正彦　著
新潮社
教養を身につけるためにはどうしたら良いのか。教養の歴史を概観し、その効用と限界を明らかにしつつ、数学者らしい独創的な視点で「現代に相応しい教養」のあり方を提言する独創的文化論。

産経新聞 2019/01/27

2018:12./ 199p
978-4-10-610793-1
本体 ¥740+税

零戦隊、発進!～「無敵零戦」神話の始まり～
神立　尚紀　著
潮書房光人新社
昭和 15 年 9 月 13 日、重慶上空。わずか 13 機で倍以上の敵を圧倒した零戦隊の初陣。参加搭乗員へのインタビュー、軍極秘文書の解析から「伝説の戦い」の真相と、13 人の搭乗員のその後の運命を追う。

産経新聞 2019/01/27

2019:1./ 269p
978-4-7698-1667-6
本体 ¥2,200+税

月夜に傘をさした話～正岡容単行本未収録作品集～
正岡　容　著
幻戯書房
芥川龍之介にホメられ、永井荷風を激怒させ、安藤鶴夫を妬み、稲垣足穂を友とした、神田生まれの作家・大衆芸能研究者、正岡容。大正 12 年?昭和 26 年に発表した、単行本未収録作品を中心とする小説・随筆 36 篇を収録。

産経新聞 2019/01/27

2018:11./ 445p
978-4-86488-161-6
本体 ¥5,500+税

MARUZEN-YUSHODO

「プロレス」という文化～興行・メディア・社会現象～
岡村　正史 著
ミネルヴァ書房
プロレスとはいったい何か。なぜファンは熱狂するのか。スポーツ社会学、ロラン・バルトのテキストなど様々な方法論でプロレスの現状を読み解き、知られざるワンダーランドの深奥に迫る。力道山のプロレスが持つ意味も解明。

産経新聞 2019/01/27、東京・中日新聞 2019/01/27

2018:12./
17p,305p,13p
978-4-623-08439-5
本体 ¥3,500+税

記憶術全史～ムネモシュネの饗宴～(講談社選書メチエ　689)
桑木野　幸司 著
講談社
古代ギリシアで生まれ、中世を経て、ルネサンスで隆盛を極めた「記憶術」。文学、哲学、史学、美術史、建築史、音楽学、科学史、思想史など、多彩な領域に及ぶこの秘技の誕生から黄昏までを一望する。

朝日新聞 2019/01/06

2018:12./ 348p
978-4-06-514026-0
本体 ¥2,000+税

神の雫ワイン知ったか BOOK
亜樹　直、オキモト　シュウ 著
主婦の友社
ワインマンガ「神の雫」作者らが、勉強なしでワインを楽しむための「コツ」を伝授。フランスワインの基本や、おいしく飲むための HOW TO、プロポーズ、大切な商談といったシーン別マリアージュなどを紹介する。

朝日新聞 2019/01/06

2018:12./ 127p
978-4-07-433791-0
本体 ¥1,200+税

この世にたやすい仕事はない(新潮文庫　つ-34-2)
津村　記久子 著
新潮社
隠しカメラを使った小説家の監視、巡回バスのニッチなアナウンス原稿づくり…。社会という宇宙で心震わすマニアックな仕事を巡りつつ自分の居場所を探す、共感と感動のお仕事小説。

朝日新聞 2019/01/06

2018:12./ 424p
978-4-10-120142-9
本体 ¥670+税

歴史の中のワイン(文春新書　1178)
山本　博 著
文藝春秋
古代メソポタミアに造られ始めたワインが、いかにして今日、食卓に供されるようになったのか。その歴史と技術革命をたどりつつ、ワインの楽しみ方の精髄に迫る。

朝日新聞 2019/01/06

2018:8./ 214p
978-4-16-661178-2
本体 ¥830+税

本・子ども・絵本(文春文庫　な 80-1)
中川　李枝子 著
文藝春秋
「いやいやえん」「ぐりとぐら」など、児童書の分野で数々の名作を世に出した著者が、最も身近なことである本のこと、子どものこと、絵本のことについて、その魅力を綴る。撮り下ろしの写真やイラストを追加して文庫化。

朝日新聞 2019/01/06

2018:12./ 239p
978-4-16-791200-0
本体 ¥680+税

MARUZEN-YUSHODO

満洲ラプソディ～小澤征爾の父・開作の生涯～
江宮　隆之　著
河出書房新社
満洲を理想郷として建国しようと献身し、戦後はロバート・ケネディにベトナム戦争からの撤退を訴えた、小澤征爾の父・開作。子どもたちを育てながら、夢と理想に生きた男の波乱の生涯を綴った小説。

朝日新聞　2019/01/06

2018:10./ 245p
978-4-309-02742-5
本体 ¥1,950+税

音叉
エドワード・ゴーリー、柴田　元幸　著
河出書房新社
シオーダみんなの鼻つまみ。ただいるだけで不快の極み。話といい服装といい、聞いても見ても、頭がキィィ! 独特の韻を踏んだ文章と、独自のモノクローム線画が特徴のエドワード・ゴーリーによる絵本。

朝日新聞　2019/01/06

2018:10./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-309-27978-7
本体 ¥1,200+税

アメリカ(河出新書　001)
橋爪　大三郎、大澤　真幸　著
河出書房新社
アメリカとはそもそもどんな国か? アメリカ的とはどういうことか? 日本を代表するふたりの社会学者による対話で、日本にとっていちばん重要な国であるアメリカのひみつを明らかにする。

朝日新聞　2019/01/06

2018:11./ 344p
978-4-309-63101-1
本体 ¥920+税

信長と京都～宿所の変遷からみる～
河内　将芳　著
淡交社
必要最低限以上に京都には滞在しようとしなかった織田信長。入洛のたびに定めた「宿所」の変遷から、信長と京都との関係性を読み解く。1568?82 年の、洛中の宿所の一覧「信長在京表」も掲載。

朝日新聞　2019/01/06

2018:11./ 166p
978-4-473-04277-4
本体 ¥1,800+税

地方都市の持続可能性～「東京ひとり勝ち」を超えて～(ちくま新書　1367)
田村　秀　著
筑摩書房
地方は衰退するしかないのか? 公共政策に精通する著者が、全国各都市の栄枯盛衰を人口・産業・競争関係等から俯瞰し、さらに道州制や首都機能移転などこれまでの議論を整理。地方の生き残り戦略を再検討する。

朝日新聞　2019/01/06

2018:11./ 270p
978-4-480-07175-0
本体 ¥860+税

無敵のハンディキャップ～障害者が「プロレスラー」になった日～(ちくま文庫　き　42-1)
北島　行徳　著
筑摩書房
障害者同士のプロレス、さらには障害者対健常者のマッチメイクで、「清く正しい」障害者像をひっくり返し、世間の度肝を抜いた障害者プロレス団体「ドッグレッグス」の、汗と涙と笑いの快進撃を描くノンフィクション。

朝日新聞　2019/01/06

2018:11./ 394p
978-4-480-43550-7
本体 ¥950+税

奇商クラブ(創元推理文庫 M チ 3-7)
G.K.チェスタトン、南條 竹則 著
東京創元社
今までにない奇抜な商売で実益を上げている者に限り、入会を許可する-。この一風変わった秘密結社は「奇商クラブ」と呼ばれていた…。チェスタトンが<ブラウン神父>シリーズに先駆けて発表した 6 つの奇妙な物語の新訳。

朝日新聞 2019/01/06

2018:11./ 246p
978-4-488-11019-2
本体 ¥740+税

山梨ワイン探索～23 組の生産者を訪ねて～
森 覚、標 克明 著
美術出版社
個性をワインに映す気鋭の造り手、伝統と革新の中で葛藤する造り手…。世界を知るトップソムリエが山梨で出会った、造り手たちの本音とワインの記録。『ワイナート』連載を書籍化。ジャケットの上下折り込みを開くと地図あり。

朝日新聞 2019/01/06

2018:4./ 207p
978-4-568-50633-4
本体 ¥2,000+税

社会学はどこから来てどこへ行くのか
岸 政彦、北田 暁大、筒井 淳也、稲葉 振一郎 著
有斐閣
事実とは何か。理解とは何か。社会とは何か。理論と方法の根源に遡行し、「社会問題」の現場へと向かう。「理論」「量的」「質的」の 3 つの領域の社会学者によるリレー対談・鼎談を収録。

朝日新聞 2019/01/06

2018:11./ 3p,368p
978-4-641-17441-2
本体 ¥2,200+税

そばですよ～立ちそばの世界～
平松 洋子 著
本の雑誌社
いか天そばに動揺する「川一」、土地の記憶を食べる「白河そば」…。東京の立ちそば 26 店を取り上げ、それぞれの昼と夜を描く。『本の雑誌』連載を加筆し書籍化。データ:2018 年 11 月現在。

朝日新聞 2019/01/06

2018:11./ 341p
978-4-86011-421-3
本体 ¥1,700+税

冥顕の哲学<1> 死者と菩薩の倫理学
末木 文美士 著
ぷねうま舎
日本の中世思想から近代哲学にいたる壮大な流れを踏まえ、現代の存在論や脱構築、神学や教学と批判的に対話し、死と死者の領域を視野に収める新しい哲学のヴィジョン。1 は、死者と冥顕の哲学の基礎的問題に関する考察を行う。

朝日新聞 2019/01/06

2018:11./ 276p
978-4-906791-97-2
本体 ¥2,600+税

国際法(ちくま新書 1372)
大沼 保昭 著
筑摩書房
国際法をどう理解すればよいのか。弱肉強食の「国際社会」という不条理の世界で、法はどう働くのか。国際法の第一人者が、「生きた国際法」を誰にでもわかる形で解説する。ブックガイドも収録。

朝日新聞 2019/01/06、東京・中日新聞 2019/01/27

2018:12./ 413p
978-4-480-07165-1
本体 ¥1,100+税

MARUZEN-YUSHODO

不忍池ものがたり～江戸から東京へ～
鈴木　健一　著
岩波書店
寛永寺の創建以来、庶民の憩いの場として発展してきた不忍池は、和歌・漢詩・浮世絵など、数多くの作品に描かれてきた。江戸から現代まで、不忍池が育んだ文化の多彩な様相を、時代のなかに浮かび上がらせる。

朝日新聞 2019/01/06、日本経済新聞 2019/01/12

2018:10./ 7p,207p
978-4-00-061299-9
本体 ¥2,400+税

ナチズムとユダヤ人～アイヒマンの人間像～　新版(角川新書　K-239)
村松　剛　著
KADOKAWA
恐るべきナチスによるユダヤ人絶滅計画の、実際的推進者であったアイヒマンの思想は、どのように形成されたのか。当時、イスラエルに赴いてアイヒマン裁判を直に傍聴した著者が、この謎に独自の光をあてる。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 276p
978-4-04-082256-3
本体 ¥840+税

平成犬バカ編集部
片野　ゆか　著
集英社
人生崖っぷちの男が起死回生をかけて立ち上げたのは、この国初めての日本犬専門雑誌『Shi-Ba』だった！ 犬バカが集まる編集部を軸に激動の犬現代史を追うノンフィクション。『レンザブロー』掲載に加筆・修正。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 300p
978-4-08-771165-3
本体 ¥1,600+税

演劇プロデューサーという仕事～「第三舞台」「劇団☆新感線」はなぜヒットしたのか～
細川　展裕　著
小学館
小劇場ブームを牽引した「第三舞台」、70 万人興行の「劇団☆新感線」。両劇団はいかにしてヒットしたのかを、演劇プロデューサーの著者が綴る。古田新太、いのうえひでのりとの鼎談、鴻上尚史との対談も収録。

朝日新聞 2019/01/12

2018:10./ 295p
978-4-09-389780-8
本体 ¥1,400+税

遙かなる城沼(小学館文庫　あ 5-4)
安住　洋子　著
小学館
特別な才覚がないことに悩みつつも誠実に生きる惣一郎。友の離反、父の病など、周りではさまざまな出来事が起こり…。ひとりの男の成長を人情味あふれる筆致で描きながら、愛情や友情の大切さを謳い上げる長編時代小説。

朝日新聞 2019/01/12

2019:1./ 315p
978-4-09-406595-4
本体 ¥690+税

異邦人　改版(新潮文庫　カ-2-1)
カミュ　著
新潮社
母の死の翌日海水浴に行き、女と関係を結び、映画を見て笑いころげ、人を殺害し、動機について「太陽のせい」と答える…。通常の論理的な一貫性が失われている男を主人公に、不条理の認識を極度に追求したカミュの代表作。

朝日新聞 2019/01/12

2014:6./ 179p
978-4-10-211401-8
本体 ¥460+税

世界史を変えた新素材(新潮選書)
佐藤　健太郎　著
新潮社
コラーゲンがモンゴル帝国を強くした?「材料科学」の視点から描くグローバル・ヒストリー。数ある材料の中から 12 種を選び、歴史との関わりを紹介する。『Web でも考える人』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2019/01/12

2018:10./ 230p
978-4-10-603833-4
本体 ¥1,300+税

明治大正史<世相篇>(中公クラシックス)
柳田　国男　著
中央公論新社
朝日新聞 2019/01/12

2001:8./ 438p
978-4-12-160013-4
本体 ¥1,550+税

炎の色<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 425-3)
ピエール・ルメートル、平岡　敦　著
早川書房
1927 年 2 月、パリ。一大帝国を築いた実業家の葬儀中、故人の孫が 3 階の窓から落ちた。故人の長女マドレーヌは亡父の地位と財産を相続したが息子の看護に追われ…。「天国でまた会おう」3 部作の第 2 弾。単行本も同時刊行。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 331p
978-4-15-181453-2
本体 ¥740+税

炎の色<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 425-4)
ピエール・ルメートル、平岡　敦　著
早川書房
奸計により、亡父が遺した資産も邸宅も失ったマドレーヌ。一方、彼女を裏切った者たちは、それぞれ成功への道を歩んでいた。そして、マドレーヌは復讐を決意し…。「天国でまた会おう」3 部作の第 2 弾。単行本も同時刊行。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 313p
978-4-15-181454-9
本体 ¥740+税

辺境メシ～ヤバそうだから食べてみた～
高野　秀行　著
文藝春秋
ヒキガエルジュース、ラクダ丼、水牛の脊髄炒め、サルの燻製脳味噌、アマゾンの口?み酒、胎盤餃子…。辺境探検家が、今まで食べた世界各地の珍奇な食品や料理について綴る。『週刊文春』連載を単行本化。

朝日新聞 2019/01/12

2018:10./ 311p
978-4-16-390919-6
本体 ¥1,500+税

いつか深い穴に落ちるまで
山野辺　太郎　著
河出書房新社
人類は、地球を貫く穴を通れるのか? 日本-ブラジル間・直線ルート極秘開発プロジェクト。大手建設会社の子会社の広報係・鈴木一夫は、この謎めいた事業の存在理由について調査を開始するが…。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 151p
978-4-309-02761-6
本体 ¥1,300+税

MARUZEN-YUSHODO

自炊力～料理以前の食生活改善スキル～(光文社新書　975)
白央　篤司　著
光文社
「食事は外食やコンビニ頼り。けれどできれば自炊をしたい、はじめてみたい」そんな人に向けて、経済的で、健康的で、なにより美味しくて楽しい生活のために欠かせないスキル「自炊力」の身につけ方を紹介する。

朝日新聞　2019/01/12

2018:11./ 230p
978-4-334-04381-0
本体 ¥800+税

僕たちは、宇宙のことぜんぜんわからない～この世で一番おもしろい宇宙入門～
ジョージ・チャム、ダニエル・ホワイトソン、水谷　淳　著
ダイヤモンド社
宇宙は何でできてるの？ ビッグバンの時には何が起こった？ ダークマターって何？ まだ解明されていない宇宙の謎をイラストを交えてわかりやすく解説した、笑えて学べる世界一おもしろい宇宙入門。

朝日新聞　2019/01/12

2018:11./ 3p,444p
978-4-478-06954-7
本体 ¥1,800+税

えーえんとくちから(ちくま文庫　さ 49-1)
笹井　宏之　著
筑摩書房
えーえんとくちからえーえんとくちから永遠解く力を下さい 2009 年、26 歳でこの世を去った歌人・笹井宏之。鋭敏で繊細なまなざしから生まれた、やさしくつよい言葉が詰まった作品集。未発表原稿を加えて文庫化。

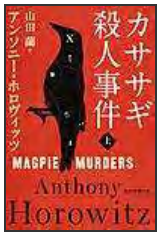
朝日新聞　2019/01/12

2019:1./ 197p
978-4-480-43575-0
本体 ¥680+税

柳田国男全集<22>　おとら狐の話　炉辺叢書解題　郷土会記録　真澄遊覧記　ひなのーふし　昔話採集の栞　風位考資料　日本人他　　全36別2巻39分冊33配
柳田　国男　著
筑摩書房
碩学・柳田国男の思考を跡づける画期的全集。22 巻は、宣伝用小冊子「炉辺叢書解題」、編著「郷土会記録」、校訂本「真澄遊覧記」など、柳田国男の編集にかかる単行本や共著の冊子を収載。定本未収録多数。

朝日新聞　2019/01/12

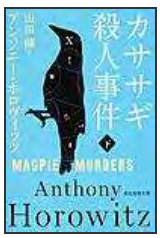
2010:9./ 840p
978-4-480-75082-2
本体 ¥12,000+税



カササギ殺人事件<上>(創元推理文庫　M ホ 15-1)
アンソニー・ホロヴィッツ、山田　蘭　著
東京創元社
1955 年 7 月、パイ屋敷の家政婦が階段の下で亡くなっていた。掃除機のコードに足を引っかけたのか、あるいは…。余命僅かな名探偵アティカス・ピュントの推理は？ アガサ・クリスティへの愛に満ちたオマージュ・ミステリ。

朝日新聞　2019/01/12

2018:9./ 360p
978-4-488-26507-6
本体 ¥1,000+税



カササギ殺人事件<下>(創元推理文庫　M ホ 15-2)
アンソニー・ホロヴィッツ、山田　蘭　著
東京創元社
名探偵アティカス・ピュントの最新作の原稿を結末部分まで読んだ編集者は、あまりのことに激怒する。さらに予想もしない事態が編集者を待っていて…。アガサ・クリスティへの愛に満ちたオマージュ・ミステリ。

朝日新聞　2019/01/12

2018:9./ 382p
978-4-488-26508-3
本体 ¥1,000+税

魯迅と紹興酒～お酒で読み解く現代中国文化史～(東方選書 50)
藤井 省三 著
東方書店
1979 年の上海ビールの味、映画に見る北京の地酒、魯迅が描く紹興酒の風景…。酒をキーワードに、改革・開放経済体制以後 40 年の中国語圏文化の変遷を語る。『NHK ラジオ中国語講座』連載を加筆修正。

朝日新聞 2019/01/12

2018:10./ 6p,271p
978-4-497-21819-3
本体 ¥2,000+税

シリア拘束安田純平の 40 か月
安田 純平、ハーバー・ビジネス・オンライン 編
安田 純平 著
扶桑社
シリアで武装勢力に 40 か月間拘束されたフリージャーナリスト・安田純平。帰国後に行った日本記者クラブでの会見と質疑応答を全文収録。本人によるキーワード解説に加え、独占インタビュー120 分とシリア情勢解説も収載。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 110p
978-4-594-08133-1
本体 ¥800+税

日本の食文化<1> 食事と作法
小川 直之 編
吉川弘文館
人と人をつなぐ共食や贈答、神仏への供え物、調理の技法と担い手、食具の扱いなど、儀礼と日常の食の社会的な意味を読み解く。ファーストフードや「和食」の国際的な動向も取り上げる。

朝日新聞 2019/01/12

2018:12./
10p,251p,7p
978-4-642-06836-9
本体 ¥2,700+税

ゴッホ～最後の 3 年～
バーバラ・ストック、川野 夏実 著
花伝社
「ひまわり」「星月夜」「夜のカフェテラス」など傑作の生まれた 3 年間。その果てに彼が見たものとは-? 新たな視点からゴッホの晩年を描いた、アムステルダム・ゴッホ美術館等共同制作のグラフィックノベル。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 141p
978-4-7634-0869-3
本体 ¥2,000+税

100 歳時代の新しい介護哲学～介護を仕事にした 100 人の理由～
久田 恵、花げし舎 著
現代書館
元は芸人、銀行マン、ダンサー、主婦…。様々な人生が様々な理由で「介護の仕事」へたどり着き…。3 年にわたる聞き取り取材を元に、介護の現場に生きる 100 人の思いを紹介する。

朝日新聞 2019/01/12

2018:11./ 237p
978-4-7684-3568-7
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO

内藤湖南未収録文集
内藤　湖南、内藤湖南研究会　編
内藤　湖南　著
河合文化教育研究所
明治維新の起点は応仁の乱にある。元の時代は中国近代の極相である-。日本・中国・東アジアの近代を異質な地点から構想した内藤湖南。青年時から晩年までの未収録・未発見の文書を収集し、新聞等発表時の年月日に沿って収録。

朝日新聞　2019/01/12

2018:12./ 15p,909p
978-4-7772-0438-0
本体 ¥25,000+税

銃・病原菌・鉄～一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎～<上巻>(草思社文庫　ダ 1-1)
ジャレド・ダイアモンド　著
草思社
アメリカ大陸の先住民はなぜ、旧大陸の住民に征服されたのか。世界に広がる富とパワーの「地域格差」を生み出したものとは。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

朝日新聞　2019/01/12

2012:2./ 395p,17p
978-4-7942-1878-0
本体 ¥900+税

銃・病原菌・鉄～一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎～<下巻>(草思社文庫　ダ 1-2)
ジャレド・ダイアモンド　著
草思社
世界史の勢力地図は侵略と淘汰が繰り返される中で幾度となく塗り替えられてきた。勝者と敗者を分けた要因とは、地域による差を生み出した真の要因とはなにか。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

朝日新聞　2019/01/12

2012:2./ 412p,18p
978-4-7942-1879-7
本体 ¥900+税

縄文探検隊の記録(インターナショナル新書　032)
夢枕　獏、岡村　道雄　著
集英社インターナショナル
遺跡・遺物から推論する縄文の合理的で豊かな暮らし、空海の密教と縄文の神々との関係、古代日本に渡来した人々の正体など、縄文研究の最先端を紹介。縄文人の高度な知識と文明を解き明かす。『kotoba』連載を書籍化。

朝日新聞　2019/01/12

2018:12./ 253p
978-4-7976-8032-4
本体 ¥860+税

さくらのはなみち<1>(MeDu COMICS)
希戸塚　一示、西山　田　著
ジーオーティー
朝日新聞　2019/01/12

2018:12./ 173p
978-4-8148-0136-7
本体 ¥640+税

ホワイト・トラッシュ～アメリカ低層白人の四百年史～
ナンシー・アイゼンバーグ、渡辺　将人、富岡　由美　著
東洋書林
アメリカには白人最下層(ホワイト・トラッシュ)が常に存在した-。英国の植民地政策や建国の父たちの白人最下層への本音、南部の貧しい白人の疎外化や現代のホワイト・トラッシュの変造を分析。アメリカの階級史を解剖する。

朝日新聞　2019/01/12

2018:10./ 479p
978-4-88721-825-3
本体 ¥4,800+税

MARUZEN-YUSHODO

中井久夫と考える患者シリーズ<1> 統合失調症をたどる
中井　久夫 著
ラグーナ出版
統合失調症を深く探究した精神科医・中井久夫の著作を、患者と医療者がともに読み、新しい統合失調症像をつくりだしていく試み。1 は、統合失調症の経過を丹念にたどる。

朝日新聞 2019/01/12

2015:11./ 245p,7p
978-4-904380-46-8
本体 ¥2,500+税

恐怖の男～トランプ政権の真実～
ボブ・ウッドワード、伏見　威蕃 著
日本経済新聞出版社
感情的なアメリカ大統領。彼の危険な思いつきを妨害し、国を動かすホワイトハウスのスタッフ。世界一の強国の意思決定は、いま狂気に満ちている。ニクソンを退陣させた伝説の記者が、トランプとホワイトハウスの真実を描く。

朝日新聞 2019/01/12、読売新聞 2019/01/20

2018:12./ 532p 図版16p
978-4-532-17652-5
本体 ¥2,200+税

壁の向こうの住人たち～アメリカの右派を覆う怒りと嘆き～
A.R.ホックシールド、布施　由紀子 著
岩波書店
アメリカは自分の国なのに、社会が急速に変わってしまい、まるで自国に暮らす異邦人の気分だ-。南部ルイジアナ州に暮らす共和党支持派の白人中間層の心情に向き合い、アメリカを分断する“共感の壁”を越える手がかりを探る。

朝日新聞 2019/01/12、日本経済新聞 2019/01/26

2018:10./
15p,371p,75p
978-4-00-061300-2
本体 ¥2,900+税

緑の花と赤い芝生
伊藤　朱里 著
中央公論新社
リケジョでバリキャリの志穂子と、家庭に重点を置く杏梨。女としてのスタンスが異なる二人が、志穂子の兄と杏梨の結婚で交わった時、彼女たちは何を思い、動くのか? 女性のリアルをえぐり出す。

朝日新聞 2019/01/13

2018:9./ 247p
978-4-12-005117-3
本体 ¥1,600+税

平場の月
朝倉　かすみ 著
光文社
病院の売店で再会した、元男子の青砥と元女子の須藤。50 年生きてきた男と女には、老いた家族や過去もあり…。心のすき間を埋めるような感情のうねりを、求めあう熱情を、生きる哀しみをしみじみと描く、大人の恋愛小説。

朝日新聞 2019/01/13

2018:12./ 245p
978-4-334-91256-7
本体 ¥1,600+税

月まで三キロ
伊与原　新 著
新潮社
「月は 1 年に 3.8 センチずつ、地球から離れていってるんですよ」 死に場所を探してタクシーに乗った男を、運転手は山奥へと誘う-。表題作をはじめ、折れそうな心に寄り添う、全 6 話を収録。

朝日新聞 2019/01/13、産経新聞 2019/01/20

2018:12./ 255p
978-4-10-336212-8
本体 ¥1,600+税

MARUZEN-YUSHODO

本と鍵の季節
米澤　穂信　著
集英社
高校 2 年の図書委員、次郎と詩門は、先輩から亡くなった祖父が遺した金庫の鍵の番号を探り当ててほしいと言われ…。図書室に持ち込まれる謎に、ふたりの男子高校生が挑む。全 6 編を収録。『小説すばる』掲載に加筆し単行本化。

朝日新聞 2019/01/13、東京・中日新聞 2019/01/27

2018:12./ 296p
978-4-08-771173-8
本体 ¥1,400+税

「連動」する世界史～19 世紀世界の中の日本～(シリーズ日本の中の世界史　1)
南塚　信吾　著
岩波書店
明治国家はどのようにして作られたのか。諸地域間の関係と相互作用の中で形成される「世界史の傾向」が、日本の諸条件にあわせて土着化してゆく歴史を描き出す。

朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 11p,254p
978-4-00-028384-7
本体 ¥2,400+税

社会認識の歩み(岩波新書)
内田義彦　著
岩波書店
朝日新聞 2019/01/19

1971:9./ 209p
978-4-00-411063-7
本体 ¥760+税

巡礼ビジネス～ポップカルチャーが観光資産になる時代～(角川新書　K-243)
岡本　健　著
KADOKAWA
どうしたら「大切な場所」を作ることができるのか? 市場拡大するアニメ産業から派生した「聖地巡礼」という消費活動。観光とメディア・コンテンツの専門家の視点から、インバウンド対応を含む巡礼ビジネスの具体例を紹介。

朝日新聞 2019/01/19

2018:12./ 293p
978-4-04-082259-4
本体 ¥860+税

母の教え～10 年後の『悩む力』～(集英社新書　0953)
姜　尚中　著
集英社
これまでの生活をリセットして東京近郊の高原へと移住した著者が、「田舎暮らしエッセイ」という器に載せて、これまでになく素直な気持ちで、来し方行く末を綴る。

朝日新聞 2019/01/19

2018:10./ 236p
978-4-08-721053-8
本体 ¥840+税

それでも、日本人は「戦争」を選んだ(新潮文庫　か-77-1)
加藤　陽子　著
新潮社
普通のよき日本人が、世界最高の頭脳たちが、「もう戦争しかない」と思ったのはなぜか? 日清戦争から太平洋戦争まで、戦争の根源的な特徴、戦争が地域秩序や国家や社会に与えた影響と変化などを、中高生への講義を元に解説。

朝日新聞 2019/01/19

2016:7./ 497p
978-4-10-120496-3
本体 ¥750+税

MARUZEN-YUSHODO

欲望という名の電車 改版(新潮文庫 ウ-5-4)
T.ウィリアムズ 著
新潮社
欲望という名の電車に乗ってニューオーリアンズの下町に降り立ったブランチ。傷心のまま過去の夢に生きる彼女を迎えたのは、妹の夫らの粗暴なまでの“新しいアメリカ”の生だった-。1947 年初演、近代演劇史上不朽の名作。

朝日新聞 2019/01/19

2012:10./ 234p
978-4-10-210906-9
本体 ¥520+税

銀河を渡る～全エッセイ～
沢木 耕太郎 著
新潮社
「深夜特急」の終わりで迷った末に訪れなかったマラケシュへの旅、深い海の底に旅立った高倉健へ贈る最後のメッセージ…。沢木耕太郎が好奇心を全開に旅し続けた、25 年間の全エッセイを収録する。

朝日新聞 2019/01/19

2018:9./ 461p
978-4-10-327519-0
本体 ¥1,800+税

作家との遭遇～全作家論～
沢木 耕太郎 著
新潮社
山本周五郎、色川武大、高峰秀子、檀一雄…。書物の森の中で、酒場の喧騒の中で、沢木耕太郎が心奪われる出会いをしてきた 23 名の作家たち。22 歳の時の卒論「アルベール・カミュの世界」も収録した作家論集。

朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 438p
978-4-10-327520-6
本体 ¥1,800+税

外国人が見た日本～「誤解」と「再発見」の観光 150 年史～(中公新書 2511)
内田 宗治 著
中央公論新社
外国人は何を見たいのか。日本人は何を見せたいのか。外国人による見どころランキングの変遷や、日本人による観光客誘致をめぐる賛否両論を紹介し、日本の魅力はどこにあるのか、誰がどう発見し、アピールするのかを追う。

朝日新聞 2019/01/19

2018:10./ 3p,274p
978-4-12-102511-1
本体 ¥880+税

ルポ中年フリーター～「働けない働き盛り」の貧困～(NHK 出版新書 566)
小林 美希 著
NHK出版
非正規雇用で働く 35～54 歳の「中年フリーター」が増加の一途を辿っている。なぜ彼らは好景気にも見放されてしまったのか?フリーターを救う企業はあるのか?豊富な当事者取材から「見えざる貧困」の実態を描きだす。

朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 221p
978-4-14-088566-6
本体 ¥780+税

セミオーシス(ハヤカワ文庫 SF 2214)
スー・バーク、水越 真麻 著
早川書房
数十人のチームが冷凍睡眠を経て惑星パックスに入植。ある日、原生植物の果実を食べた 3 名が死亡。植物学者は、植物が意図的に毒化したのではと疑い…。7 世代 100 年、惑星植民者と知的植物のファーストコンタクト年代記。

朝日新聞 2019/01/19

2019:1./ 587p
978-4-15-012214-0
本体 ¥1,060+税

誰のために法は生まれた
木庭　顕 著
朝日出版社
替えのきく人間なんて 1 人もいない-。問題を鋭く見つめ、格闘した紀元前ギリシャ・ローマ人の古典作品などを読解し、全てを貫く原理を取り出し、法について考える。2017 年に桐蔭学園で中高生のために行われた授業の記録。

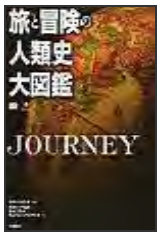
朝日新聞 2019/01/19

2018:7./ 397p
978-4-255-01077-9
本体 ¥1,850+税

意味がない無意味
千葉　雅也 著
河出書房新社
<意味がある無意味>とは、意味の世界に空いた「穴」で、そこへ引っ張られて意味の雨が降り続ける。<意味がない無意味>は、意味の雨を止めるような無意味だ-。千葉雅也の哲学、10 年間の全貌。

朝日新聞 2019/01/19

2018:10./ 292p
978-4-309-24892-9
本体 ¥1,800+税



旅と冒険の人類史大図鑑
マイケル・コリンズ、サイモン・アダムズ、R.G.グラント、アンドリュー・ハンフリーズ、西崎香、柳嶋　覚子 著
河出書房新社
人類の移動から、世界の歴史が見えてくる-。アレクサンドロス大王の世界征服、コンティキ号の探検、月へのフライト…。戦争・征服・交易から冒険・発見まで、世界の歴史に燦然と輝く「旅」を豊富なオールカラー図版で紹介。

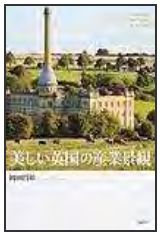
朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 360p
978-4-309-25591-0
本体 ¥9,000+税

極上の孤独(幻冬舎新書 し-10-3)
下重　暁子 著
幻冬舎
まわりに自分を合わせるくらいなら、ひとりでいるほうが何倍も愉しく充実する。成熟した人間だけが到達できる境地でもある-。ひとりを愛する著者が、孤独の効用を語り尽くす。

朝日新聞 2019/01/19

2018:3./ 181p
978-4-344-98493-6
本体 ¥780+税



美しい英国の産業景観(テクノスケープ)
岡田　昌彰 著
創元社
鉱山、水車、醸造所、運河、倉庫、建設現場など、壮麗な土木遺産から、小さく愛らしいポンプまで、英国に偏在する工業化のレガシー310 点を美しい風景と共に記録したビジュアル・アーカイブ。行政区域別景観写真索引付き。

朝日新聞 2019/01/19

2018:12./ 263p
978-4-422-70117-2
本体 ¥5,500+税

上方らくごの舞台裏(ちくま新書　1375)
小佐田　定雄 著
筑摩書房
六代目松鶴、三代目春團治、五代目文枝をはじめとする、彼岸に渡ってしまった上方らくごの師匠たちの演題を厳選。舞台裏話から芸や人の魅力、お囃子さんまで語り尽くす。歌舞伎になった新作落語「山名屋浦里」の裏話も掲載。

朝日新聞 2019/01/19

2018:12./ 318p
978-4-480-07185-9
本体 ¥940+税

方壺園～ミステリ短篇傑作選～(ちくま文庫 ち 9-2)
陳 舜臣、日下 三蔵 編
陳 舜臣 著
筑摩書房
唐の時代、異様な建築「方壺園」で起きた漢詩の盗作をめぐる密室殺人を描いた表題作ほか、雄大な中国の歴史と豊かな詩情で彩られた本格推理全 9 編を収録する。至高のミステリ作家・陳舜臣をたっぷり味わえる傑作選。

朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 434p
978-4-480-43554-5
本体 ¥920+税

地球なんでも大図鑑～つながる百科～
DK 社 編
小寺 敦子、瀧口 和代、小島 純子 著
東京書籍
文化、歴史、科学などの分野ごとに 250 のテーマを収録した図鑑。各ページに、つながりのある話題が読めるページを掲載し、たくさんのモノ・コトに興味が広がるよう構成。用語集、索引付き。

朝日新聞 2019/01/19

2018:12./ 304p
978-4-487-81151-9
本体 ¥4,300+税

火星の遺跡(創元 SF 文庫 SF ホ 1-27)
ジェイムズ・P.ホーガン、内田 昌之 著
東京創元社
火星の都市で行われた瞬間移動技術の人体実験は成功と思われたが、被験者となった科学者の身辺で奇妙な事件が多発する。一方、火星で発見された巨石遺跡を、古代文明の実在証拠と考える地球からの考古学遠征隊に危機が迫り…。

朝日新聞 2019/01/19

2018:12./ 438p
978-4-488-66327-8
本体 ¥1,200+税

THE LAST GIRL～イスラム国に囚われ、闘い続ける女性の物語～
ナディア・ムラド、ジェナ・クラジェスキ、吉井 智津 著
東洋館出版社
貧しくも平和な村での暮らし。しかし、イスラム国の脅威は次第に強まり、虐殺と収奪の日々が訪れ…。戦下における武器としての性暴力の根絶に尽力し、2018 年ノーベル平和賞を受賞した著者が、自身の壮絶な経験を物語る。

朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 413p
978-4-491-03617-5
本体 ¥1,800+税

世界の哲学 50 の名著～エッセンスを究める～
T.バトラー=ボードン、大間知 知子 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
必読書の要点が 5 分でわかる! アリストテレス、プラトン、エピクロスら古代の哲学者から、サルトル、マイケル・サンデルら現代の思想家まで、50 冊の哲学の名著のエッセンスを紹介する手引書。

朝日新聞 2019/01/19

2014:2./ 479p
978-4-7993-1462-3
本体 ¥2,200+税

パンダ探偵社<1>(torch comics)
澤江 ポンプ 著
リイド社
不治の病でパンダ化しつつある半田と、先輩・竹林の探偵物語。変身病患者の切なくも救いある決断を描くアン・ヒューマン・ドラマ。

朝日新聞 2019/01/19

2018:12./ 213p
978-4-8458-6007-4
本体 ¥670+税

サルと屋久島～ヤクザル調査隊とフィールドワーク～
半谷　吾郎、松原　始 著
旅するミシン店
仲間と切磋琢磨し、笑い、悩み、議論しながら、「屋久島の山の上」に住むサルのことを、ひとつひとつ明らかにしてきた-。1989 年に始まったヤクザル調査隊の歩みと、生活のエピソードを綴る。

朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 317p
978-4-908194-08-5
本体 ¥1,600+税

図説・17 都県放射能測定マップ+読み解き集～2011 年のあの時・いま・未来を知る～
みんなのデータサイト出版
東日本大震災による福島原発事故後、日本各地で立ち上がった「市民放射能測定室」のネットワーク「みんなのデータサイト」による 6 年間の活動の測定結果をまとめて地図化し、解説する。

朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 200p
978-4-9910427-0-6
本体 ¥2,315+税

福岡市を経営する
高島　宗一郎 著
ダイヤモンド社
福岡を「最強都市」にした弱者の戦略とは? アナウンサーから史上最年少・36 歳で福岡市長に当選した著者が、選挙のリアル、リーダーシップ、SNS の活かし方、市民一人ひとりの意識改革、自分の命の使い方について綴る。

朝日新聞 2019/01/19、日本経済新聞 2019/01/26

2018:12./ 262p
978-4-478-10347-0
本体 ¥1,500+税

海蛇と珊瑚～歌集～
藪内　亮輔 著
KADOKAWA
傘をさす一瞬ひとはうつむいて雪にあかるき街へ出でゆく きらきらと波をはこんでゐた川がひかりを落とし橋をくぐりぬ 愛はつね逢ひをさびしくすることの雨の純銀に濡れてゐる花 第 1 歌集。

朝日新聞 2019/01/20

2018:12./ 231p
978-4-04-876416-2
本体 ¥2,200+税

ドナルド・トランプの危険な兆候～精神科医たちは敢えて告発する～
バンディ・リー 編
村松　太郎 著
岩波書店
全米の精神科医・心理学者たちが、トランプ大統領の数多くの言動がアメリカの政治社会および国際政治、そして個々人にもたらす危険を多面的に論じる。専門家の社会的責任とは何かをも問う書。

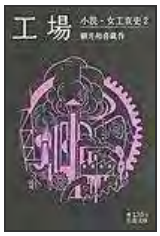
朝日新聞 2019/01/26

2018:10./
26p,353p,21p
978-4-00-061301-9
本体 ¥2,500+税

奴隷～小説・女工哀史 1～(岩波文庫 33-135-2)
細井　和喜蔵 著
岩波書店
両親を失い、機屋の奉公人として働き始めた少年は、近代化の歯車が労働者を呑み込む中を生きる。少年の目に映る故郷の美しくも酷い情景、志の行く末は?「女工哀史」著者の自伝的小説。

朝日新聞 2019/01/26

2018:10./ 556p
978-4-00-331352-7
本体 ¥1,260+税



工場～小説・女工哀史 2～(岩波文庫 33-135-3)
細井 和喜蔵 著
岩波書店
恋と発明の夢に敗れ、失意の自殺未遂から生還した青年。以後の人生は紡織工場の奴隷労働解放に捧げようと誓うが…。「女工哀史」の著者・細井和喜蔵が、工場現場の女と男の生身の姿を描いた小説。

朝日新聞 2019/01/26

2018:12./ 554p
978-4-00-331353-4
本体 ¥1,260+税

いじめているきみへ
春名 風花、みきぐち 著
朝日新聞出版
あそんでいるだけなんだよね。じぶんよりよわいおもちゃで…。他人を憎んだり、妬んだり、嫌いになってしまう気持ちは、誰にでもある。全ての人に「自分のこと」だと思って読んで欲しい絵本。『朝日新聞』掲載コラムを絵本化。

朝日新聞 2019/01/26

2018:8./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-02-251568-1
本体 ¥1,200+税

ブギーポップは笑わない
上遠野 浩平、緒方 剛志 著
KADOKAWA
君には夢があるかい? 残念ながら、ぼくにはそんなものはない-。<世界の敵>を殺す死神<ブギーポップ>と少年少女達の、1 つの奇怪な事件と、5 つの奇妙な物語。上遠野浩平書き下ろし「補記」も収録。TV アニメの原作。

朝日新聞 2019/01/26

2019:1./ 267p
978-4-04-912271-8
本体 ¥1,300+税

わかりあえないことから～コミュニケーション能力とは何か～(講談社現代新書 2177)
平田 オリザ 著
講談社
他者と「わかりあう」ことに重点が置かれてきた日本のコミュニケーション教育に疑問を抱く劇作家・平田オリザが、「わかりあえない」ところから出発するコミュニケーションについて考える。

朝日新聞 2019/01/26

2012:10./ 230p
978-4-06-288177-7
本体 ¥740+税

ゆかいな床井くん
戸森 しるこ 著
講談社
床井くんは、6 年生のクラスがえで、最初に暦のとなりの席になった男の子。ユーモアがあって、考え方のセンスがよくて、ちょっと変わっていて…。小学 6 年生の 4 月から卒業までの 1 年間の物語。

朝日新聞 2019/01/26

2018:12./ 185p
978-4-06-513905-9
本体 ¥1,300+税

蒼い空へ～夫・西城秀樹との 18 年～
木本 美紀 著
小学館
2018 年 5 月、63 才という早すぎる人生の幕をおろした西城秀樹。その妻が、17 年の壮絶なる闘病生活や、最期までステージをあきらめなかった男の真実を語る。プライベート写真を含む未公開ショットも収録する。

朝日新聞 2019/01/26

2018:11./ 199p
978-4-09-388643-7
本体 ¥1,400+税

民主主義の死に方～二極化する政治が招く独裁への道～
スティーブン・レビツキー、ダニエル・ジブラット、濱野　大道　著
新潮社
現代の民主主義の死は、選挙から始まる-。20 世紀にヨーロッパやラテンアメリカで起きた民主主義の崩壊を長年研究してきた 2 人の著者が、世界の民主主義の現状を分析し、将来に向けて打つべき手を提言する。

朝日新聞 2019/01/26

2018:9./ 318p
978-4-10-507061-8
本体 ¥2,500+税

明治期日本の陸軍～官僚制と国民軍の形成～
大江　洋代　著
東京大学出版会
なぜ明治期日本において、陸軍という新しい組織が成立しえたのか。近世から近代への移行期である明治初年から、日露戦争前にかけての政治的、社会的条件のもとに存在した「明治期日本型陸軍」の形成過程を明らかにする。

朝日新聞 2019/01/26

2018:12./ 6p,370p,5p
978-4-13-026248-4
本体 ¥6,600+税

町の形見
柳　美里　著
河出書房新社
柳美里が主宰する演劇ユニット・青春五月党の 24 年ぶりの新作戯曲。ふたば未来学園演劇部出演「静物画 2018」、朗読劇「窓の外の結婚式」、復活公演の挨拶文も併録。

朝日新聞 2019/01/26

2018:11./ 261p
978-4-309-02759-3
本体 ¥2,000+税

#リパブリック～インターネットは民主主義になにをもたらすのか～
キャス・サンスティーン、伊達　尚美　著
勁草書房
SNS の浸透により危機に瀕する民主主義。人工知能の発展やアルゴリズムの高度化による予測精度の高まりが、民主主義ないし民主的自己統治を破壊する危険性をもつことを、豊富な実証研究と憲法解釈から描き出す。

朝日新聞 2019/01/26

2018:8./ 6p,366p,41p
978-4-326-35176-3
本体 ¥3,200+税

考えるための日本語入門～文法と思考の海へ～
井崎　正敏　著
三省堂
日本語で考えるとは、日本語の文法とどのようにかかわりあうことなのか。「そこ」と「それ」、助詞の「は」や「が」などをキーワードに、思考という観点から日本語の文法構造を探究する。

朝日新聞 2019/01/26

2018:11./ 222p,6p
978-4-385-36097-3
本体 ¥1,900+税

作家の運～デイヴィッド・ロッジ自伝～
デイヴィッド・ロッジ、高儀　進　著
白水社
成功も失敗も、好きも嫌いも、強みも弱みも隠さずに、充実期の作家人生を振り返る-。現代イギリス文学を代表する作家デイヴィッド・ロッジが、創作の秘密から文壇や学会の内幕まで、つぶさに物語る自伝。

朝日新聞 2019/01/26

2019:1./ 441p 図版 16p
978-4-560-09676-5
本体 ¥5,000+税

MARUZEN-YUSHODO

なぜわれわれは外来生物を受け入れる必要があるのか
クリス・D.トマス、上原　ゆうこ　著
原書房
私たちは進化的変化の加速と新しい種類の生命の発生を目の当たりにしている-。英国の生態学者・進化生物学者である著者が「生物多様性の真の姿」を説く。外来生物の排除に生態学の立場から異を唱えた書。

朝日新聞　2019/01/26

2018:11./ 343p
978-4-562-05593-7
本体 ¥2,400+税

らんちう
赤松　利市　著
双葉社
旅館の総支配人が従業員 6 人の手により惨殺された。逮捕された犯人達は取調室で動機を語るが、彼らの殺意はあやふやなものだった。ワンマン経営、過重労働、若女将の裏の顔…。複雑に絡み合う事実が供述から浮かび上がり…。

朝日新聞　2019/01/26

2018:11./ 348p
978-4-575-24131-0
本体 ¥1,500+税

金の鳥～ブルガリアのむかしばなし～
BL出版
王に命じられて金の鳥をさがす旅に出た 3 人の王子。途中で出会ったおじいさんの忠告をきいた勇気ある末の王子は…。ブルガリアの幻想的なおはなし。世界のむかしばなし絵本シリーズ。

朝日新聞　2019/01/26

2018:12./ 40p
978-4-7764-0863-5
本体 ¥1,600+税

子どもには聞かせられない動物のひみつ
ルーシー・クック、小林　玲子　著
青土社
乱交するパンダ、独身のオスをターゲットに売春するペンギン、トイレで婚活するナマケモノ…。イギリスの女性珍獣ハンターが、嫌われ者の動物たちの誤解を正し、人気者たちの裏の顔を暴く、驚きの動物エッセイ。

朝日新聞　2019/01/26

2018:12./ 401p,10p
978-4-7917-7131-8
本体 ¥1,900+税

中村政則の歴史学
浅井　良夫、大門　正克、吉川　容、永江　雅和、森　武麿　著
日本経済評論社
近現代史研究の中心的存在だった中村政則。日本資本主義史、天皇制論、地主制史、民衆史など多岐にわたり、人々を魅了したその仕事を様々な角度から再評価し、歴史学での位置づけを問う。編著者らによる座談会も収録。

朝日新聞　2019/01/26

2018:11./ 9p,374p
978-4-8188-2503-1
本体 ¥3,700+税

Michi みち
junaida　著
福音館書店
背中を向け、足を踏ん張って立つ子ども。小さな一歩を踏み出したその行く手には、まっ白な道がどこまでものびて…。繊細なタッチで描かれた町のすみずみに目をこらし、自分だけの物語を見つけてみましょう。文字のない絵本。

朝日新聞　2019/01/26

2018:11./ 46p
978-4-8340-8437-5
本体 ¥2,300+税

世界のピラミッド大事典
大城　道則、青山　和夫、関　雄二　著
柊風舎
世界各地に点在するピラミッドを網羅。エジプトを中心としたアフリカ大陸、メソアメリカ、南米という 3 つの地域の研究者が、それぞれのフィールドにおけるピラミッドの詳細を、図版とともに紹介する。

朝日新聞 2019/01/26

2018:12./ 9p,639p
978-4-86498-064-7
本体 ¥15,000+税

ザ・マンガホニャララ～21 世紀の漫画論～
ブルボン小林　著
クラーケン
小学館漫画賞選考委員も務める著者の、痛快マンガコラム集。「宝島社の「このマンガがすごい!」で一票も入らなかった中から選ぶベスト漫画」も収録。『週刊文春』連載 5 年分に加筆と書き下ろしを加え単行本化。

朝日新聞 2019/01/26

2018:11./ 399p
978-4-909313-04-1
本体 ¥1,500+税

統治の抗争史～フーコー講義 1978-79～
重田　園江　著
勁草書房
国家理性、ポリス、都市計画、病と衛生、人口、確率・統計、エコノミー…。キーワードと共に「統治」という概念の抗争史を描き、独特な用語や思考の跳躍にあふれたフーコー講義の核心に迫る。

朝日新聞 2019/01/26、産経新聞 2019/01/27

2018:11./
16p,500p,57p
978-4-326-30271-0
本体 ¥6,400+税

政治の衰退～フランス革命から民主主義の未来へ～<上>
フランシス・フクヤマ、会田　弘継　著
講談社
「国家」と「法」と「民主主義」は、なぜ衰退するのか。あらゆる国家の政治制度、歴史を論じながら、国民国家の終焉とその後の世界を読み解く。上は、第 1 部「国家」、第 2 部「諸外国の制度」を収録。

朝日新聞 2019/01/26、日本経済新聞 2019/01/26

2018:6./ 385p
978-4-06-217152-6
本体 ¥3,000+税

政治の衰退～フランス革命から民主主義の未来へ～<下>
フランシス・フクヤマ、会田　弘継　著
講談社
「国家」と「法」と「民主主義」は、なぜ衰退するのか。あらゆる国家の政治制度、歴史を論じながら、国民国家の終焉とその後の世界を読み解く。下は、第 2 部「諸外国の制度」第 19 章?第 4 部「政治の衰退」を収録。

朝日新聞 2019/01/26、日本経済新聞 2019/01/26

2018:12./ 379p
978-4-06-217153-3
本体 ¥3,000+税

穴あきエフの初恋祭り
多和田　葉子　著
文藝春秋
重ねたはずの手紙のやりとり、十年ぶりに再訪したはずの日本、そして私とあなた-。手紙、スマホ、スカイプなど、コミュニケーションの妙味を巧みに描いた七篇の物語。『文學界』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2019/01/06

2018:10./ 151p
978-4-16-390917-2
本体 ¥1,500+税

MARUZEN-YUSHODO

知られざるシベリア抑留の悲劇～占守島の戦士たちはどこへ連れていかれたのか～

長勢　了治 著

芙蓉書房出版

飢餓、重労働、酷寒の三重苦…。日本兵の切実な体験記や、ソ連側の写真文集などを駆使して、ロシア極北マガダンの「地獄の収容所」の実態を明らかにする。マガダン・コルィマ収容所で死亡した捕虜 154 人の詳細データも収録。

東京・中日新聞 2019/01/06

2018:11./ 223p
978-4-8295-0747-6
本体 ¥2,000+税

不意撃ち

辻原　登 著

河出書房新社

不意撃ち、それは運命の悪意か。失踪した風俗嬢の過去を追う男が辿り着いたのは、伊勢の海に浮かぶ不思議な女たちの島だった…。「渡鹿野」ほか、人生の“予測不可能”な罠を描いた全 5 作品を収録。『文藝』等掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2019/01/06、読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 235p
978-4-309-02756-2
本体 ¥1,600+税

平成精神史～天皇・災害・ナショナリズム～(幻冬舎新書　か-24-1)

片山　杜秀 著

幻冬舎

度重なる災害、資本主義の限界…。「平らかに成る」からは程遠かった平成。この 30 年に蔓延した精神的退廃を日本人は乗り越えられるのか。博覧強記の思想家による平成論。『小説幻冬』連載を改題し、書き下ろしを加え新書化。

東京・中日新聞 2019/01/06、読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 307p
978-4-344-98526-1
本体 ¥900+税

幸福の増税論～財政はだれのために～(岩波新書 新赤版 1747)

井手　英策 著

岩波書店

自己責任社会から、頼りあえる社会へ-。すべての人の命とくらしが保障される温もりある社会を取り戻すため、「増税」の必要性に切り込み、財政改革、社会改革の構想を大胆に提言する。

東京・中日新聞 2019/01/06、読売新聞 2019/01/13、毎日新聞 2019/01/27

2018:11./ 8p,236p,5p
978-4-00-431747-0
本体 ¥840+税

養生の智慧と気の思想～貝原益軒に至る未病の文化を読む～(講談社選書メチエ 688)

謝　心範 著

講談社

古代中国から連綿と受け継がれる養生文化の集大成である、貝原益軒の「養生訓」。益軒が中国養生古典文献をどれだけ読み込んで吸収していたかを明らかにし、書に記された養生思想の真髄を読む。

東京・中日新聞 2019/01/13

2018:11./ 282p
978-4-06-513944-8
本体 ¥1,850+税

「雑」の思想～世界の複雑さを愛するために～

高橋　源一郎、辻　信一 著

大月書店

現代社会が否定してきた“雑”なるものたちにオルタナティブへの手がかりを求める-。“雑”なる民主主義、“雑”に向きあう宗教、“雑”を取り入れる経済などについて、高橋源一郎と辻信一が語り合う。

東京・中日新聞 2019/01/13

2018:11./ 188p
978-4-272-43102-1
本体 ¥1,500+税

フィフティ・ピープル(となりの国のものがたり 01)
チョン　セラン、斎藤　真理子　著
亜紀書房
ガンで余命宣告を受けた母に結婚を急かされるスジョン。血みどろの手術に嬉々として挑む医師ギユン…。死と痛みと悲しみ、回復と再生の物語がすれ違い、交錯する。韓国文学をリードする若手作家による、めくるめく連作短編集。

東京・中日新聞 2019/01/13

2018:9./ 485p
978-4-7505-1564-9
本体 ¥2,200+税

動物園巡礼
木下　直之　著
東京大学出版会
通天閣とサバンナとサイ、別府地獄のカバとワニ、大須観音商店街のラクダ行列…。さまざまな動物園を巡ってきた著者が、行く先々の風景からヒトと動物との関係を考える。東京大学出版会の『UP』誌連載をもとに書籍化。

東京・中日新聞 2019/01/13、産経新聞 2019/01/20

2018:11./ 7p,294p
978-4-13-083077-5
本体 ¥2,800+税

常設展示室
原田　マハ　著
新潮社
パリ、NY、東京。世界各地の美術館で、人生の岐路に立つ人々が出会う、運命を変える一枚。アート小説の第一人者が、美術館の片隅で繰り広げられる人間ドラマを描く短篇集。『小説新潮』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2019/01/13、朝日新聞 2019/01/13

2018:11./ 190p
978-4-10-331754-8
本体 ¥1,400+税

1971 年の悪霊(角川新書　K-245)
堀井　憲一郎　著
KADOKAWA
1970 年代に生まれた思念に覆われている日本。日本に満ちているやるせない空気の正体は何なのか。若者文化の在り様を丹念に掘り下げ、その源流を探る。ウェブメディア『Cakes』、『現代ビジネス』掲載を加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2019/01/20

2019:1./ 223p
978-4-04-082043-9
本体 ¥860+税

ゴー・ホーム・クイックリー
中路　啓太　著
文藝春秋
終戦直後の昭和 21 年初め、最高司令官総司令部(GHQ)が、憲法草案を押し付けてきた。この時、日本の未来のために抗った官僚と政治家たちの戦いを描く。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2019/01/20

2018:11./ 356p
978-4-16-390932-5
本体 ¥1,850+税

誰も農業を知らない～プロ農家だからわかる日本農業の未来～
有坪　民雄　著
原書房
机上の改革案が日本農業をつぶす! 農家減少・高齢化の衝撃、「ビジネス感覚」農業の盲点、遺伝子組み換え作物の是非など、日本農業の現状と突破口を専業農家のリアルな視点から見る。ウェブ『JBPRESS』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2019/01/20

2018:12./ 6p,307p
978-4-562-05613-2
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO

全共闘以後 改訂版
外山 恒一 著
イースト・プレス
1968 年の全共闘から 50 年-。80 年前後のノンセクト学生運動、反原発ニューウェーブと札幌ほっけの会、原宿騒擾事件、洞爺湖サミット反対闘争…。“全共闘以後”の若者たちの社会運動の歴史を描く。

東京・中日新聞 2019/01/20

2018:12./ 621p
978-4-7816-1746-6
本体 ¥2,600+税

海苔と卵と朝めし～食いしん坊エッセイ傑作選～
向田 邦子 著
河出書房新社
ちいさなこだわり、忘れられない味-。向田邦子の食いしん坊エッセイ傑作選。「思い出の食卓」「ウチの手料理」「日々の味」「旅の愉しみ」など 6 章からなる全 29 篇のエッセイと、「寺内貫太郎一家」より小説 1 篇を収録する。

東京・中日新聞 2019/01/27

2018:12./ 248p
978-4-309-02765-4
本体 ¥1,650+税

わたしのもりをぬけたら
レイチェル・ウッドワース 著
フレーベル館
ムシャクシャして、チクチクして、めちゃくちゃな日が続いたら、心のなかでつぶやくの。出るよ出るよ、ここから遠くへ!わたしの秘密の森へ出かけよう…。エッセイスト華恵、初の翻訳絵本。巻頭に名前の書き込み欄あり。

東京・中日新聞 2019/01/27

2018:10./ 32p
978-4-577-04700-2
本体 ¥1,400+税

銀河鉄道の星
宮沢 賢治、後藤 正文 編
宮沢 賢治、牡丹 靖佳 著
ミシマ社
宮沢賢治の不朽の名作、「銀河鉄道の夜」「よだかの星」「双子の星」。音のリズムや詩情はそのままに、宮沢作品の美しい世界を、現代の読者にも読みやすいように編み直す。ポストカード付き。

東京・中日新聞 2019/01/27

2018:12./ 196p
978-4-909394-16-3
本体 ¥1,800+税

この地上において私たちを満足させるもの
乙川 優三郎 著
新潮社
高橋光洋の古い記憶のフィルムがまわりはじめる。終戦後の混沌と喪失、漂泊したパリ、マラガ、マニラの日々、死線を越えてからの小説家デビュー…。著者の原点と歳月を刻む記念碑的書下ろし長篇。

読売新聞 2019/01/05

2018:12./ 249p
978-4-10-439309-1
本体 ¥1,600+税

トリサンナイタ～歌集～
大口 玲子 著
角川書店
仙台での妊娠、出産。東日本大震災後、原発事故の影響を案じ、移住という決断を迫られるなかで、母として、人として、どう生きるか。揺れ動く心情を静謐に詠い上げた歌集。2005 年の末から 2012 年 1 月までの作品を収録。

読売新聞 2019/01/06

2013:7./ 223p
978-4-04-652749-3
本体 ¥1,300+税

歌舞伎俳優 二代目 中村吉右衛門～別冊芸談つき～
中村 吉右衛門／鍋島 徳恭 著
小学館
歌舞伎の歴史に残したい播磨屋の芸の集大成 初舞台から 70 年、播磨屋・中村吉右衛門の記録。祖父であり名優であった初代吉右衛門の姿を追い続けた当代吉右衛門の「芸」と「生き様」を随所に感じる一冊。

読売新聞 2019/01/06

2018:11./ 224p
978-4-09-682278-4
本体 ¥23,000+税

雪の練習生(新潮文庫 た-106-1)
多和田 葉子 著
新潮社
サーカスの花形から事務職に転身し、やがて自伝を書き始めた「わたし」。サーカスで伝説の芸を成し遂げた娘の「トスカ」。その息子で動物園の人気者となった「クヌート」。ホッキョクグマ 3 代の物語をユーモラスに描く。

読売新聞 2019/01/06

2013:11./ 328p
978-4-10-125581-1
本体 ¥550+税

「あの世」と「この世」のあいだ～たましいのふるさとを探して～(新潮新書 794)
谷川 ゆに 著
新潮社
合理主義と科学の呪縛を超え、琉球弧の島々から北海道まで、その土地と人と自然の中に宿る神々や死者を想い、古代から現代へと連なるたましいの水脈を探す。『波』連載を改題して新書化。

読売新聞 2019/01/06

2018:12./ 213p
978-4-10-610794-8
本体 ¥760+税

八日目の蝉(中公文庫 か 61-3)
角田 光代 著
中央公論新社
読売新聞 2019/01/06

2011:1./ 376p
978-4-12-205425-7
本体 ¥590+税

樹木たちの知られざる生活～森林管理官が聴いた森の声～(ハヤカワ文庫 NF 531)
ペーター・ヴォールレーベン、長谷川 圭 著
早川書房
樹木たちはコミュニケーションを取り合い、ときに助け合う。その一方で熾烈な縄張り争いをも繰り広げる。学習をし、音に反応し、数を数える-。ドイツの森林管理官が、長年の経験と科学的裏付けをもとに、木や森の真実を語る。

読売新聞 2019/01/06

2018:11./ 286p
978-4-15-050531-8
本体 ¥700+税

日本 4.0～国家戦略の新しいリアル～(文春新書 1182)
エドワード・ルトワック 著
文藝春秋
戦後日本を守ってきた「同盟による抑止」。これが通用しない相手に対し、どうやってこの国を守るか。先制攻撃能力の構築、日本に必要な特殊部隊のあり方など、世界的戦略家が緊急提言する。

読売新聞 2019/01/06

2018:9./ 189p
978-4-16-661182-9
本体 ¥800+税

社会制作の方法～社会は社会を創る、でもいかにして?～(けいそうブックス)
北田　暁大 著
勁草書房
社会は実在する。社会問題は実在する-。実在する人びとの苦しみや悲しみに対峙する、あたらしい社会学理論。「秩序の学」としての社会学という原点に立ち戻り、理論的な構想力においてたどり着きうる秩序の条件を描き出す。

読売新聞 2019/01/06

2018:11./
3p,346p,14p
978-4-326-65415-4
本体 ¥2,500+税

82 年生まれ、キム・ジヨン
チョ　ナムジュ、斎藤　真理子 著
筑摩書房
ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジヨン。誕生、学生時代、受験、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはだかる困難と差別を描く。

読売新聞 2019/01/06

2018:12./ 189p
978-4-480-83211-5
本体 ¥1,500+税

生産性～誤解と真実～
森川　正之 著
日本経済新聞出版社
生産性を高めるために何が必要なのか。気鋭のエコノミストが、広範な視点から、エビデンスに基づいて生産性と経済政策をめぐる論点を整理。真に有効な処方箋についての考え方を提示する。

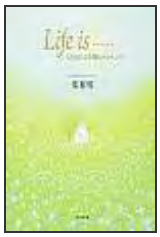
読売新聞 2019/01/06

2018:11./ 313p
978-4-532-35803-7
本体 ¥3,000+税

高円寺文庫センター物語
のがわ　かずお 著
秀和システム
そこは、キラ星のような才能が集い、お客さんと共に創造する小宇宙だった-。かつて“日本のインド”と言われた頃の高円寺に花咲いた、日本一のサブカル本屋の奮闘記。

読売新聞 2019/01/06

2018:10./ 309p
978-4-7980-5609-8
本体 ¥1,500+税



Life is…～人生を彩る幸福のエッセンス～
葉　祥明 著
中央法規出版
愛とは、幸福とは、命とは。画業 45 年、美しい風景画を描き続けてきた葉祥明が“生きること”への思いを綴った詩画集。声優・細谷佳正による朗読をスマホで聴ける AR 音声特典付き。

読売新聞 2019/01/06

2018:8./ 62p
978-4-8058-5748-9
本体 ¥1,400+税

風に戦いで
桂　文枝 著
ワニブックス
落語への想い、友人との出会い、母への感謝…。落語家になって 52 年、75 歳になった六代桂文枝が、これまでの人生と落語家としての歩みを綴った自伝。

読売新聞 2019/01/06

2018:10./ 217p
978-4-8470-9661-7
本体 ¥1,500+税

MARUZEN-YUSHODO

機密費外交～なぜ日中戦争は避けられなかったのか～(講談社現代新書　2501)
井上　寿一　著
講談社
焼却されたはずの外交機密費文書が残されていた。満州事変から日中戦争前夜までの史料の数々。日中関係の修復をめざしながら、時代に翻弄された現地の外交官たちを描く。「戦争調査会」の姉妹書。

読売新聞　2019/01/06、朝日新聞　2019/01/12

2018:11./ 270p
978-4-06-513851-9
本体 ¥920+税

照明家(あかりや)人生～劇団四季から世界へ～
吉井　澄雄　著
早川書房
劇団四季の創立に参加し、浅利慶太、蜷川幸雄らと共に演劇界を革新した照明デザインの第一人者・吉井澄雄の回顧録。戦後の舞台芸術史と幾度も交差する「照明家(あかりや)人生」をつづる。

読売新聞　2019/01/06、朝日新聞　2019/01/12

2018:11./ 335p
978-4-15-209810-8
本体 ¥2,700+税

自転車泥棒
呉　明益、天野　健太郎　著
文藝春秋
20 年前の父の失踪とともに消えた自転車。その行方を追ううち、いつしか台湾から戦時下の東南アジアのジャングルへ-。家族の「愛と記憶」を壮大なスケールで描く長篇。

読売新聞　2019/01/06、東京・中日新聞　2019/01/13

2018:11./ 438p
978-4-16-390925-7
本体 ¥2,100+税

ウンベルト・エーコの世界文明講義
ウンベルト・エーコ、和田　忠彦、石田　聖子、小久保　真理江、柴田　瑞枝、高田　和広、横田　さやか　著
河出書房新社
現代人は古代・中世・近代より進歩しているのか。見えないもの、聖なるもの、美と醜、絶対と相対、パラドックス、?、秘密、陰謀論など、文明の普遍的な課題を読み解く。ミラノの文芸祭「ミラネジアーナ」での講演録。

読売新聞　2019/01/06、日本経済新聞　2019/01/19

2018:11./ 436p
978-4-309-20752-0
本体 ¥4,600+税

ふたつのオリンピック～東京 1964/2020～
ロバート・ホワイティング、玉木　正之　著
KADOKAWA
1964 年の東京オリンピックを前に大変貌を遂げつつある東京にやってきたアメリカ人が、2020 年の二度目の東京オリンピックを迎えるまでのすべての体験を、みずからの歩みと東京という大都市の変貌を重ね合わせて描く。

読売新聞　2019/01/13

2018:9./ 590p
978-4-04-400218-3
本体 ¥2,400+税

美しい鉱物～レアメタルから宝石まで鉱物の基本がわかる!～(学研の図鑑)
松原　聰　著
学研プラス
ダイナミックな地球史の記憶が宿る鉱物の入門書。世界中に産出する鉱物・宝石から約 200 種類を選び、標本の写真や、化学組成式、原子番号・原子量などの詳細データとともに紹介する。鉱物早見図鑑も収録。

読売新聞　2019/01/13

2013:3./ 128p
978-4-05-405578-0
本体 ¥552+税

MARUZEN-YUSHODO

Matt
岩城　けい 著
集英社
オーストラリアに移住して 5 年。現地の名門校に通う 16 歳の真人は、平穏な学校生活を送っていた。しかし、ある転校生がやってきて…。自らのアイデンティティと向き合う青春小説。『すばる』掲載に加筆・修正して単行本化。

読売新聞 2019/01/13

2018:10./ 249p
978-4-08-771164-6
本体 ¥1,400+税

絶筆(新潮文庫　の-3-4)
野坂　昭如 著
新潮社
2003 年、脳梗塞で倒れた野坂昭如。だがその後も夫人の手を借りての口述筆記で作家活動を続行。日記という作品に魂を傾注していった-。急逝のわずか数時間前まで取り組んだ 10 年以上に及ぶ日記を収録。エッセイ選も附す。

読売新聞 2019/01/13

2019:1./ 636p
978-4-10-111210-7
本体 ¥840+税

猛老猫の逆襲
山下　洋輔 著
新潮社
「おれは亡命する!どこへって?ジャズ王国だ」 常に世界を熱狂させてきたピアニストの、即興セッション旅日記。著者の自筆楽譜「The 30th Theme」も掲載。『波』連載を書籍化。

読売新聞 2019/01/13

2018:12./ 233p
978-4-10-343705-5
本体 ¥1,600+税

小林秀雄(中公文庫　お 2-17)
大岡　昇平 著
中央公論新社
高校時代に出会って以来、55 年に及ぶ交遊のなかで著者がとらえた稀代の批評家、小林秀雄の思想・文学・生き方とは。批評からエッセイ、追悼文までの全文章、小林との対話 2 編を収録する。

読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 284p
978-4-12-206656-4
本体 ¥900+税

revisions 時間 SF アンソロジー(ハヤカワ文庫　JA 1353)
大森　望 編
早川書房
奔放なアイデアと冷徹な論理で驚愕のヴィジョンを体感させる時間 SF 短篇の数々。アメリカ SF 黄金期の名篇「ヴィンテージ・シーズン」から、オールタイム・ベスト SF 短篇にも選出された「五色の舟」まで、全 6 篇を収録する。

読売新聞 2019/01/13

2018:12./ 340p
978-4-15-031353-1
本体 ¥820+税

イラスト・ルポの時代
小林　泰彦 著
文芸春秋
1967 年、勇躍ニューヨーク現地取材に飛び立った著者にとって、目にするものすべてが新鮮で熱かった。1967～71 年の地球をイラストと文でとらえた現代史。

読売新聞 2019/01/13

2004:9./ 301p
978-4-16-366220-6
本体 ¥1,905+税

MARUZEN-YUSHODO

コンビニ人間(文春文庫　む 16-1)
村田　沙耶香　著
文藝春秋
36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

読売新聞 2019/01/13

2018:9./ 168p
978-4-16-791130-0
本体 ¥580+税

知りたい会いたい特徴がよくわかるコケ図鑑
藤井　久子、秋山　弘之　著
家の光協会
気になるコケの名前がわかる! 会いたいコケが必ず見つかる! 身近なコケから不思議な生態のコケまで、蘚類 128 種・苔類 51 種・ツノゴケ類 3 種の合計 182 種を写真と共に紹介。見つかりやすさを示した「出会い率」付き。

読売新聞 2019/01/13

2017:4./ 175p
978-4-259-56538-1
本体 ¥1,800+税

泥海
陣野　俊史　著
河出書房新社
2015 年 1 月 7 日、パリ 11 区で「あの事件」は起きた。泥濘と腐臭の中を彷徨い続ける彼らは、マリカの「愛の物語」に引き寄せられるように語り出し…。ヨーロッパのムスリムを描いた物語。『文藝』掲載を書籍化。

読売新聞 2019/01/13

2018:12./ 165p
978-4-309-02764-7
本体 ¥1,600+税

武器になる思想～知の退行に抗う～(光文社新書　978)
小林　正弥　著
光文社
どんな状況でもよりよく生きるために必要なのは、主体的に考えて判断するための知恵。マイケル・サンデルに倣った対話型講義を展開する学者とともに、「人間として不可欠な知」を考える白熱問答集。

読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 314p
978-4-334-04384-1
本体 ¥880+税

ほっかいどう先人探訪～北の歴史を彩った 53 人～
読売新聞北海道支社編集部　編
柏艪舎
榎本武揚、大鵬、三浦綾子など、歴史上の人物から人気作家やスポーツ選手まで、北海道の歴史を彩った人物 53 人を紹介。先人の遺産がどのように生きているかを、豊富な写真とともに綴る。『読売新聞』北海道版連載を書籍化。

読売新聞 2019/01/13

2019:1./ 191p
978-4-434-25449-9
本体 ¥1,800+税

世界甲虫大図鑑
パトリス・ブシャー、丸山　宗利、伊藤　伸子　著
東京書籍
600 種の甲虫を甲虫亜目に分類して学名のアルファベット順に並べた図鑑。実物の大きさを表す写真、分布を示す世界地図、版画による挿絵を掲載し、生活史と近縁種、他の種と区別するための主な形態的特徴を説明する。

読売新聞 2019/01/13

2016:5./ 655p
978-4-487-80930-1
本体 ¥6,500+税

神戸闇市からの復興～占領下にせめぎあう都市空間～
村上 しほり 著
慶應義塾大学出版会
「日本一の大闇市場」とも称された神戸三宮の闇市。戦災復興の原点となった闇市の発生から衰退までの軌跡を辿り、そこから新たな商業空間が根付き、また展開していく過程を、多角的な調査と資料で生き生きと描き出す。

読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 347p,32p
978-4-7664-2566-6
本体 ¥4,200+税

17 人のわたし～ある多重人格女性の記録～
リチャード・ベア 著
エクスナレッジ
児童虐待、性的暴行、自傷願望…。精神科医のセラピーにより、凄惨な体験とその痛みを引き受けていた 17 人格の存在が明らかに。10 余年にわたり人格の統合作業を続け、ひとりの完全な人間として再出発するまでの衝撃の記録。

読売新聞 2019/01/13

2008:8./ 494p
978-4-7678-0676-1
本体 ¥2,000+税

スーパー・コンプリケーション～伝説の時計が生まれるまで～(ヒストリカル・スタディーズ 09)
ステイシー・パーマン、武藤 陽生、黒木 章人 著
太田出版
時計界のモナ・リザと呼ばれた超複雑時計(スーパー・コンプリケーション)「ザ・グレーヴス」と、この伝説的な時計の誕生のきっかけとなった「ザ・パッカード」を巡る物語。時計に取り憑かれた富豪たちの執念の軌跡を描く。

読売新聞 2019/01/13

2014:2./ 429p
978-4-7783-1391-3
本体 ¥3,300+税

わるい食べもの
千早 茜 著
ホーム社
「いい食べもの」はもうたくさん。自由こそ至高の美味である-。幼少期をアフリカで過ごした小説家による、気高き毒気冴えわたる異色の食エッセイ。ホーム社文芸図書WEB サイト『HB』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2019/01/13

2018:12./ 200p
978-4-8342-5325-2
本体 ¥1,400+税

雑誌に育てられた少年～オールタイム・ベストセレクション～
亀和田 武 著
左右社
変幻自在のコラムニスト、亀和田武の愛したモノ・人・時代が詰まった一冊。1966 年から現在までに書いた 110 篇が、センチメンタルな東京、知られざる日本 B 面の 50 年を浮かび上がらせる。カラー図版も収録。

読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 383p
978-4-86528-213-9
本体 ¥2,750+税

維新派・松本雄吉～1946-1970-2016～
松本 雄吉 著
リトル・モア
唯一無二の前衛集団・維新派を率い、世界の演劇シーンを震撼させた全身芸術家・松本雄吉の著作集。エッセイ、短篇小説、散文、戯曲、絵画、対談、劇場デザイン、演出ノート、年譜などを収録。見返しにも写真あり。

読売新聞 2019/01/13

2018:10./ 317p
978-4-89815-486-1
本体 ¥4,600+税

ゆりかごにそっと～熊本慈恵病院「こうのとりのゆりかご」に託された母と子の命～
蓮田　太二 著
方丈社
あらゆるバッシング、危機に耐え、130 人の命を救ってきた-。無条件で赤ちゃんを受け入れる熊本・慈恵病院「こうのとりのゆりかご」を考案した著者が、設立に奔走した道のりと、赤ちゃん、母親たちの物語を振り返る。

読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 246p
978-4-908925-39-9
本体 ¥1,400+税

三島由紀夫は一〇代をどう生きたか～あの結末をもたらしたものへ～
西　法太郎 著
文学通信
三島由紀夫にあの生涯、あの結末をもたらした文学と思想の淵源とは、一体何だったのか。昭和 10 年代に風靡した「日本浪曼派」「文藝文化」の文芸思潮が、10 代の三島少年を包み擁していたさまを描き出す。

読売新聞 2019/01/13

2018:11./ 356p
978-4-909658-02-9
本体 ¥3,200+税

海底に眠る蒙古襲来～水中考古学の挑戦～(歴史文化ライブラリー　478)
池田　榮史 著
吉川弘文館
元寇船が発見された長崎県・鷹島海底遺跡。水中での遺物探査や実測作業、船体保存などはいかに行われたか。試行錯誤をくり返しながら進められた調査過程を紹介し、水中考古学の手法と今後の可能性を探る。

読売新聞 2019/01/13、朝日新聞 2019/01/19

2018:12./ 7p,253p
978-4-642-05878-0
本体 ¥1,800+税

三島由紀夫と天皇(平凡社新書　896)
菅　孝行 著
平凡社
三島由紀夫が見抜いた、戦後史の欺瞞とは何か。「仮面の告白」「近代能楽集」「憂国」「英霊の声」といった主要作品を「天皇への愛憎」という視点で読み解き、その思想と行動の深部を抉る。

読売新聞 2019/01/13、毎日新聞 2019/01/27

2018:11./ 282p
978-4-582-85896-9
本体 ¥900+税

北斎富嶽三十六景(岩波文庫　33-581-1)
葛飾　北斎、日野原　健司 編
葛飾　北斎 著
岩波書店
葛飾北斎が富士を描いた浮世絵版画の名作「富嶽三十六景」。奇抜な構図、鮮烈な色彩で、日本人を魅了し、世界の芸術家達にも大きな影響を与えたこの作品を、カラーで全画見開きページで収録する。

読売新聞 2019/01/20

2019:1./ 229p
978-4-00-335811-5
本体 ¥1,000+税

世にも奇妙な君物語(講談社文庫　あ 135-2)
朝井　リョウ 著
講談社
「コミュニケーション能力促進法」が施行された世界。知子のもとに 1 枚の葉書が届く…。テレビドラマ「世にも奇妙な物語」のファンである著者が、映像化を夢見て描いた 5 編を収録。

読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 325p
978-4-06-513722-2
本体 ¥660+税

最後の読書
津野　海太郎　著
新潮社
80 代になると、本の読み方味わい方は深くなる。筋金入りの読書家が、老いてこそわかった読書の醍醐味を綴る。「蔵書との別れ」「いつしか傘寿の読書日記」など 17 編を収録。『Web でも考える人』連載を単行本化。

読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 262p
978-4-10-318533-8
本体 ¥1,900+税

強父論(文春文庫　あ 23-25)
阿川　佐和子　著
文藝春秋
94 歳で大往生。瞬間湯沸器だった父、阿川弘之に罵倒されること何千回。理屈より感情が先立ち、男尊女卑でわがままで、妻や子供には絶対服従を求める。常に自分が中心でありたい…。故人をまったく讃えない「父と娘」の記録。

読売新聞 2019/01/20

2018:12./ 281p
978-4-16-791196-6
本体 ¥650+税

サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>
ユヴァル・ノア・ハラリ　著
河出書房新社
アフリカでほそぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある-。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

読売新聞 2019/01/20

2016:9./ 267p
978-4-309-22671-2
本体 ¥1,900+税

サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>
ユヴァル・ノア・ハラリ　著
河出書房新社
なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか?その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった-。人類史全体をたどることで、我々はどのような存在なのかを明らかにする。

読売新聞 2019/01/20

2016:9./ 294p
978-4-309-22672-9
本体 ¥1,900+税

二軍監督の仕事～育てるためなら負けてもいい～(光文社新書　977)
高津　臣吾　著
光文社
東京ヤクルトスワローズの二軍監督、高津臣吾が、プロ野球の二軍という人材育成の場でどんなことが考えられ、行われているのかを紹介しつつ、改めて二軍監督の仕事を見つめ直す。

読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 217p
978-4-334-04383-4
本体 ¥800+税

向田理髪店(光文社文庫　お 36-4)
奥田　英朗　著
光文社
かつては炭鉱で栄えたが、すっかり寂れ、高齢化が進む北海道苫沢町。理髪店を営む向田康彦は、札幌で働く息子の「会社を辞めて店を継ぐ」という言葉に戸惑うが…。過疎の町の騒動と人間模様を温かくユーモラスに描く連作集。

読売新聞 2019/01/20

2018:12./ 295p
978-4-334-77763-0
本体 ¥600+税

MARUZEN-YUSHODO

はじめての金継ぎ Book
ナカムラ クニオ 著
光文社
読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 32p
978-4-334-94078-2
本体 ¥3,700+税

箱根 0 区を駆ける者たち
佐藤 俊 著
幻冬舎
付き添い、計測員、給水員、応援係…。箱根 0 区は、区間エントリーされた選手に箱根を安心して走ってもらうために裏方に回った選手たちのこと。戦力外になった東海大陸上部の 4 年生たちの挫折と再起を追ったノンフィクション。

読売新聞 2019/01/20

2018:12./ 269p
978-4-344-03406-8
本体 ¥1,300+税

昭和戦争史講義～ジブリ作品から歴史を学ぶ～
一ノ瀬 俊也 著
人文書院
なぜあのような戦争は起こったのか。「火垂るの墓」「風立ちぬ」などジブリ映画の時代背景を、実際の歴史資料を使ってよみとき、現代社会と戦争の関係を考える。おすすめブックガイド付き。

読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 240p
978-4-409-52070-3
本体 ¥1,800+税

越境の国際政治～国境を越える人々と国家間関係～
田所 昌幸 著
有斐閣
戦争や迫害によって移動を強いられる人々、観光や留学、商業目的で移動する人々。人の移動は国家と国際政治にどのような影響を与えるのか。近代から現代に至るまでの世界各地のさまざまな事例を参照しながら多角的に分析する。

読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 4p,321p
978-4-641-14924-3
本体 ¥5,500+税

アフター・アメリカ～ボストニアンの軌跡と〈文化の政治学〉～
渡辺 靖 著
慶應義塾大学出版会
アメリカ最古で最上の名門家族である「ボストンのバラモン」。アメリカン・ドリームを体現したアイルランド系移民家族の「ボストン・アイリッシュ」。2 つの世界を通してアメリカ市民社会の最深部を浮き彫りにした画期的論考。

読売新聞 2019/01/20

2004:5./ 373p,19p
978-4-7664-1078-5
本体 ¥2,500+税

謎のカラスを追う～頭骨と DNA が語るカラス 10 万年史～
中村 純夫 著
築地書館
ハシブトガラスには 2 亜種がいる。その 2 種が交雑した第 3 のカラスの存在を確かめるため、フリーランスの鳥類学者が単身、サハリンに乗り込んだ！ 研究過程と成果をノンフィクション小説の形式で著した一冊。

読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 268p 図版 12p
978-4-8067-1572-6
本体 ¥2,400+税

レ・ロマネスク TOBI のひどい目。
TOBI、奥野　武範　著
青幻舎
日本人ポップユニット「レ・ロマネスク」のボーカル　TOBI　が、これまでの人生で、笑ってしまうほど「ひどい目」にあったエピソードの数々を綴る。『ほぼ日刊イトイ新聞』連載を書籍化。見返しに前書きや後書き、奥付等あり。

読売新聞　2019/01/20

2018:9./ 372p
978-4-86152-694-7
本体 ¥2,000+税

アメリカ左派の外交政策
マイケル・ウォルツァー、萩原　能久　著
風行社
外交政策や安全保障政策について、決してよくは理解していないアメリカ左派。原理原則を振り回し、口先だけのきれいごとですまそうとする左派を批判しながら、左派にとっての対外政策の理念を提示する。

読売新聞　2019/01/20

2018:11./
8p,266p,11p
978-4-86258-114-3
本体 ¥3,500+税

楊花飛ぶ～原采蘋評伝～
小谷　喜久江　著
九夏社
幕末前夜の福岡秋月藩。父の遺言を胸に日本全国を旅し、各地の一流知識人と詩酒を交わして回った男装・帯刀の女性漢詩人がいた-。男性と肩を並べ、漢詩壇の花形として一世を風靡した原采蘋の生涯を詩とともに紹介する。

読売新聞　2019/01/20

2018:10./ 327p
978-4-909240-01-9
本体 ¥2,400+税

フランス座
ビートたけし　著
文藝春秋
「おいタケ!ちゃんとやってるか?」　大学をドロップアウトしてストリップ劇場のエレベーター一番になった俺を、“コメディアン志望の若者”に変えたのは、深見の師匠の一言だった…。師弟の絆を描いた自伝青春小説。

読売新聞　2019/01/20、産経新聞　2019/01/27

2018:12./ 141p
978-4-16-390943-1
本体 ¥1,300+税

我的日本～台湾作家が旅した日本～
呉　佩珍、白水　紀子、山口　守　著
白水社
台湾と台湾人にとって<日本>とは何か。台湾作家はいかに<日本>を見、<日本>を描いてきたのか。甘耀明、呉明益、王聡威らが、日本文化を独自に考察している作品や、優れたエッセイ全 18 篇を紹介する。

読売新聞　2019/01/20、日本経済新聞　2019/01/26

2018:12./ 175p
978-4-560-09668-0
本体 ¥1,900+税

めんそーれ!化学～おばあと学んだ理科授業～(岩波ジュニア新書　889)
盛口　満　著
岩波書店
生徒の多くは、おばあたち。料理から化学変化とは何かを学び、石けんづくりから酸とアルカリの性質を知る。おばあたちの昔話も飛び出して…。沖縄の夜間中学で化学を教えた体験をもとに、化学の面白さを伝える。

読売新聞　2019/01/27

2018:12./ 15p,216p
978-4-00-500889-6
本体 ¥880+税

MARUZEN-YUSHODO

その先の道に消える
中村　文則　著
朝日新聞出版
アパートの一室で発見されたある“緊縛師”の死体。重要な参考人の桐田麻衣子は、刑事・富樫が惹かれていた女性だった。疑惑を逸らすため、富樫は麻衣子の指紋を偽装するが…。『小説トリッパー』連載を単行本化。

読売新聞　2019/01/27

2018:10./ 246p
978-4-02-251573-5
本体 ¥1,400+税

民主主義～文部省著作教科書～(角川ソフィア文庫　M123-1)
文部省　著
KADOKAWA
昭和 23 年、新憲法の施行を受けて文部省が当代の経済学者や法学者を集め、中高生向けに刊行した教科書。民主主義の根本精神と仕組み、歴史や各国の制度を平易に紹介しながら、戦後日本が歩む未来を若者に説く。

読売新聞　2019/01/27

2018:10./ 461p
978-4-04-400434-7
本体 ¥920+税

ナチュラリスト～生命を愛でる人～
福岡　伸一　著
新潮社
ロスチャイルドにドリトル先生、恐竜、昆虫、化石を追う人…。福岡ハカセが NY で培った知見を活かし、自然の本質を探究する英国と日本を代表するナチュラリストたちを訪ね歩く。『考える人』掲載に大幅に加筆・修正。

読売新聞　2019/01/27

2018:11./ 239p
978-4-10-332212-2
本体 ¥1,550+税

ピアノ・レッスン(CREST BOOKS)
アリス・マンロー　著
新潮社
行商に同行した娘は父の別の顔を目撃し…。カナダの田舎町を舞台に、平凡な日常を送る人々が、些細な出来事から運命を変えていく有様を追う。「現代のチェーホフ」と称されるノーベル賞作家の原風景に満ちたデビュー作品集。

読売新聞　2019/01/27

2018:11./ 326p
978-4-10-590154-7
本体 ¥2,200+税

負けたくなかった～具志堅用高、波瀾の半生を語る～(中公新書ラクレ　644)
具志堅　用高、西田　浩　著
中央公論新社
自分が負ければ、日本から世界王者がいなくなる-。王者として日本ボクシングを支え続けた伝説の過去、タレント、指導者として活躍する充実の現在など、ボクシングに生きた半生を振り返る。『読売新聞』掲載に加筆し書籍化。

読売新聞　2019/01/27

2019:1./ 221p
978-4-12-150644-3
本体 ¥820+税

コンニャク屋漂流記(文春文庫　ほ 11-5)
星野　博美　著
文藝春秋
先祖は江戸時代、紀州から房総半島へ渡った漁師で、屋号はなぜか「コンニャク屋」。祖父が遺した手記を手がかりに、ルーツを探して右往左往、時空を超える珍道中。前代未聞の迷走ノンフィクション。

読売新聞　2019/01/27

2014:3./ 485p
978-4-16-790060-1
本体 ¥810+税

MARUZEN-YUSHODO

アリーテ姫の冒険

ダイアナ・コールス、ロス・アスクィス、グループ ウィメンズ・プレイス、横浜市男女共同参画推進協会 著

大月書店

王子様を頼らず、みずから人生を切りひらく賢いお姫様。数々の難題を知恵をはたらかせて元気に解決していくアリーテ姫の活躍を描いた冒険譚。ブックレット付きの復刊記念版も同時刊行。

読売新聞 2019/01/27

2018:11./ 95p
978-4-272-40687-6
本体 ¥1,500+税

彼女たちが眠る家(光文社文庫 は 35-3)

原田 ひ香 著

光文社

九州の離島にあるグループホーム「虫たちの家」では、インターネットで傷ついた女性たちが共同生活をしている。古参のテントウムシは、美しく奔放なアゲハが村の青年たちに近づく企みを知り不安になり…。女たちの希望の物語。

読売新聞 2019/01/27

2019:1./ 316p
978-4-334-77784-5
本体 ¥700+税

日本のアール・ブリュット～もうひとつの眼差し～

アール・ブリュット・コレクション 編

藤森 愛実 著

国書刊行会

「創る」ことへの原初的衝動から生まれた、ときに美しく、ときに奇妙で不思議な、独創的な作品世界-。知的障がいのある、正規の美術教育を受けていない作り手「アール・ブリュット」24 人が生み出した作品をまとめた画集。

読売新聞 2019/01/27

2018:11./ 161p
978-4-336-06334-2
本体 ¥3,500+税

奇跡の集落～廃村寸前「限界集落」からの再生～

多田 朋孔、地域おこし 著

農山漁村文化協会

廃村寸前の限界集落は、どうやって奇跡の再生を遂げたのか? 新潟県十日町市の山間部にある池谷集落の地域再生の経緯をたどる。さらに、池谷集落に移住した著者の実体験を通して、地域おこしのノウハウを解説する。

読売新聞 2019/01/27

2018:11./ 277p
978-4-540-18116-0
本体 ¥2,600+税

西欧の東(エクス・リブリス)

ミロスラフ・ペンコフ 著

白水社

1969 年、脳梗塞で倒れた妻とともに介護施設に入居する 71 歳の主人公。彼が偶然発見したものは…。「マケドニア」をはじめ、過去と現在を行き来しながら紡がれる 8 つの物語。ブルガリア出身の新鋭によるデビュー短篇集。

読売新聞 2019/01/27

2018:10./ 306p
978-4-560-09271-2
本体 ¥2,800+税

MARUZEN-YUSHODO

ジェット・セックス～スチュワーデスの歴史とアメリカ的「女性らしさ」の形成～
ヴィクトリア・ヴァントック、浜本　隆三、藤原　崇　著
明石書店
「スチュワーデス」という仕事の誕生から、ジェット族と呼ばれるセレブリティの出現、男性を誘惑する女性というネガティブなイメージが生まれるまでの花形職業の発展史を描き、大戦後アメリカの女性表象の様々な面を紐解く。

読売新聞 2019/01/27

2018:11./ 408p
978-4-7503-4722-6
本体 ¥3,200+税

文豪の猫
アリソン・ナスタシ、浦谷　計子　著
エクスナレッジ
数えきれないほどの文人たちが、猫たちの謎めいた性質に魅せられてきた。ヘミングウェイ、チャンドラー、カポーティ、大佛次郎、村上春樹…。45 人の文豪と愛猫たちのエピソードを写真とともに紹介する。

読売新聞 2019/01/27

2018:12./ 111p
978-4-7678-2554-0
本体 ¥1,600+税

自分の「異常性」に気づかない人たち～病識と否認の心理～(草思社文庫 に 3-2)
西多　昌規　著
草思社
強すぎる被害妄想、執拗な他者攻撃、異様なハイテンション、他人をふりまわすサイコパス…。精神科医が診察室で出会った、「自分の異常性」に気づかない人たちを取り上げ、その心の病理と対処法を明らかにする。

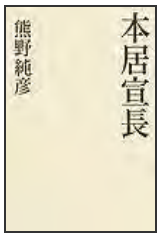
読売新聞 2019/01/27

2018:12./ 232p
978-4-7942-2365-4
本体 ¥750+税

セゾン～堤清二が見た未来～
鈴木　哲也　著
日経BP社
先の見通せない時代に生きる私たちに、堤清二が語りかけるものとは。無印良品、西武百貨店、パルコなど「セゾングループ」と堤が生み出した先駆企業の栄光と苦闘を振り返り、異能の経営者が目指した世界を探る。

読売新聞 2019/01/27

2018:9./ 309p
978-4-8222-5605-0
本体 ¥1,800+税



本居宣長
熊野　純彦　著
作品社
吉田松陰、佐佐木信綱、丸山眞男、相良亨…。本居宣長をめぐる近代日本の精神史を検討。また、その蓄積をふまえ、若き日々から萬葉研究、「古事記傳」や「秘本玉くしげ」まで、宣長の全体像を描く。

読売新聞 2019/01/27

2018:9./ 4p,899p
978-4-86182-705-1
本体 ¥8,200+税

中道ママバーミヤンを行く!
中道　貞子　著
クリエイツかもがわ
ネガティブなイメージのあるアフガニスタン。そこにも、懸命に生きる普通の人々の生活がある-。ライフワークとして生物教育に関わる“中道ママ”による、バーミヤンの小学校訪問記。カブール大学での講義の様子なども紹介。

読売新聞 2019/01/27

2019:1./ 207p
978-4-86342-247-6
本体 ¥1,800+税

日本のアニメーションはいかにして成立したのか
西村　智弘 著
森話社
アニメーションという概念は、日本でどう受容され、変遷していったのか。時代ごとの呼称や表現形式の分析を軸に、これまで周縁的・境界的とされてきた創造活動に着目し、明治期から現代にいたるアニメーションの系譜をたどる。

読売新聞 2019/01/27

2018:11./ 337p
978-4-86405-134-7
本体 ¥3,400+税

くるま暮らし。～社会不適合僧侶の究極ミニマル生活～
静　慈彰 著
飛鳥新社
お寺を 3 回クビになり、元妻から逃げ続けて離婚。何もかも嫌になり、車に乗って旅に出た…。自分で改造したワゴン車に住み、週 2 で僧侶の仕事をして暮らす著者が、ミニマリズムの先にあるライフスタイルを紹介する。

読売新聞 2019/01/27

2018:12./ 199p
978-4-86410-658-0
本体 ¥1,250+税

歴史とは何か(岩波新書　青版　D-1)
エドワード・ハレット・カー 著
岩波書店
歴史とは現在と過去との対話である。現在に生きる私たちは、過去を主体的にとらえることなしに未来への展望をたてることはできない。歴史的事実とは、法則とは、個人の役割は、など、歴史における主要な問題について明快に論じる。

日本経済新聞 2019/01/12

1962:3./ 252p
978-4-00-413001-7
本体 ¥860+税

老いる家崩れる街～住宅過剰社会の末路～(講談社現代新書　2397)
野澤　千絵 著
講談社
人口は減少するのに、都心では超高層マンションが林立、郊外では住宅建築が相次ぐ日本。住宅の「量」、住宅や住環境の質としての「老い」、新築住宅の「立地」の観点から、住宅過剰社会が抱える構造的な問題を明らかにする。

日本経済新聞 2019/01/12

2016:11./ 222p
978-4-06-288397-9
本体 ¥760+税

金田一少年の事件簿 R(リターンズ)　聖恋島殺人事件(講談社プラチナコミックス)
さとう　ふみや、天樹　征丸 著
講談社
日本経済新聞 2019/01/12

2018:6./ 580p
978-4-06-511563-3
本体 ¥722+税

中間管理録トネガワ<7>(ヤンマガ KC)
講談社
利根川幸雄の行く先は、いかなる時も五里霧中…!理外の TV アニメ 7 月放送開始!!『カイジ』の悪魔的スピンオフ第 7 巻!!

日本経済新聞 2019/01/12

2018:7./ 159p
978-4-06-512033-0
本体 ¥600+税

MARUZEN-YUSHODO

百花遊歴(講談社文芸文庫 つ E10)
塚本 邦雄 著
講談社
花は歌人を象徴する。晶子の蓮や牡丹、牧水の櫻、白秋の植物園的多彩性…。花を愛し、本草学にも深く通じた博学の前衛歌人が、十数年の歳月をかけ分類・精選した詩歌庭園。全 24 章に詩・俳句・和歌・短歌を多数収録する。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 329p
978-4-06-513696-6
本体 ¥1,700+税

No Image

犯人たちの事件簿～金田一少年の事件簿外伝～<4>(講談社コミックス週刊少年マガジン)
講談社
BOOK☆WALKER 主催の犯人総選挙で堂々第 1 位にランクされた、金田一の最大最強のライバル・地獄の傀儡師が登場!累計 70 万部突破の“犯人視点”スピンオフ第 4 巻、ついに犯人が負けないかも知れない!!

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 158p
978-4-06-513795-6
本体 ¥440+税

No Image

1 日外出録ハンチョウ<5>(ヤンマガ KC スペシャル)
上原 求／新井 和也／萩原 天晴／福本 伸行 著
講談社
劣悪な環境の地下にいながら、「1 日外出券」で地上での休み方を模索する男・大槻班長…!休み方ならワシに聞けっ…!大槻ハンチョウ外出録、絶好調第 5 巻っ…!

日本経済新聞 2019/01/12

2019:1./ 160p
978-4-06-514180-9
本体 ¥630+税

中国人のこころ～「ことば」からみる思考と感覚～(集英社新書 0958)
小野 秀樹 著
集英社
初対面の相手には収入を訊くのが定番? 手土産は大きい方が良い? 長年中国語を研究してきた著者が「ことば」を切り口に、中国人に特有の思考様式や感覚について分析した、思わず笑える知識が満載のユーモア溢れる文化論。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:12./ 254p
978-4-08-721058-3
本体 ¥860+税

No Image

名探偵コナン 犯人の犯沢さん<3>(少年サンデーコミックス)
かんば まゆこ、青山 剛昌 著
小学館
ついに標的を発見した犯沢さんだが…?最新の第 3 巻は、週刊少年サンデー2018 年 27 号に掲載された、安室透が登場する FILE.特別編「黒の日常」も収録!

日本経済新聞 2019/01/12

2018:10./ 168p
978-4-09-128564-5
本体 ¥454+税

No Image

名探偵コナン ゼロの日常<2>(少年サンデーコミックススペシャル)
新井 隆広 著
小学館
『コナン』の安室透が主人公のスピンオフ!青山剛昌・完全監修!3 つの顔(トリプルフェイス)を持つ男の日々の記録。部下の風見に語る、安室のカレーに対する流儀とは?…など、さらに意外な安室の素顔が垣間見れる第 2 巻!

日本経済新聞 2019/01/12

2018:10./ 168p
978-4-09-128638-3
本体 ¥630+税

MARUZEN-YUSHODO

名探偵コナン　灰原哀シークレットアーカイブス(少年サンデーグラフィック)
青山　剛昌　著
小学館
「名探偵コナン」に登場するクールでキュートな天才科学者・灰原哀にスポットを当てた公式ファンブック。TV アニメ・劇場版のエピソードガイド、イラストギャラリー、キャスト&スタッフインタビューなどを収録。

日本経済新聞　2019/01/12

2019:1./ 111p
978-4-09-199058-7
本体 ¥1,800+税

味なメニュー(新潮文庫　ひ-24-7)
平松　洋子　著
新潮社
銀座のシチュー、町角のジューススタンド、空港のかつサンド、居酒屋の煮込み、浪花の豚まん、東神田の立ち食いそば…。愛される味の秘密をメニューの行間から引き出す、とびきりおいしいノンフィクション。

日本経済新聞　2019/01/12

2018:12./ 328p
978-4-10-131657-4
本体 ¥550+税

人口減少時代の土地問題～「所有者不明化」と相続、空き家、制度のゆくえ～(中公新書　2446)
吉原　祥子　著
中央公論新社
農村から都市へ広がる、持ち主の居所や生死が判明しない土地の「所有者不明化」問題。地価下落による相続放棄や耕作放棄地、空き家問題の本質でもあるこの問題の実情から、行政も解決断念する実態までを描く。

日本経済新聞　2019/01/12

2017:7./ 6p,191p
978-4-12-102446-6
本体 ¥760+税

日本画の歴史～カラー版～<近代篇>　狩野派の崩壊から院展・官展の隆盛まで(中公新書　2513)
草薙　奈津子　著
中央公論新社
開国後、日本伝統の絵画は「日本画」と称した。幕末の横浜浮世絵や南画から、国家主導で堂々たる作品が制作された明治期、そして今村紫紅に代表されるのびやかな画風の大正期を描く。平塚市美術館の館長講座に加筆し書籍化。

日本経済新聞　2019/01/12

2018:11./ 13p,219p
978-4-12-102513-5
本体 ¥920+税

日本画の歴史～カラー版～<現代篇>　アヴァンギャルド、戦争画から 21 世紀の新潮流まで(中公新書　2514)
草薙　奈津子　著
中央公論新社
前衛として戦前に注目された吉岡堅二から、戦時中、そして復興に寄り添って人気を博した東山魁夷、平山郁夫の活躍、さらに平成以降の新潮流までを描く。平塚市美術館の館長講座に加筆し書籍化。

日本経済新聞　2019/01/12

2018:11./ 8p,192p
978-4-12-102514-2
本体 ¥920+税

MARUZEN-YUSHODO

ダンシング・マザー
内田　春菊 著
文藝春秋
養父による性的虐待を描いた自伝的小説「ファザーファッカー」から 25 年。あの時、母は何を考えていたのか。少女を追いつめた養父の虐待を、母の視点から描く。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 261p
978-4-16-390933-2
本体 ¥1,650+税

歴史とはなにか(文春新書)
岡田　英弘 著
文芸春秋
日本経済新聞 2019/01/12

2001:2./ 222p
978-4-16-660155-4
本体 ¥800+税

ディープラーニング活用の教科書～先進 35 社の挑戦から読む AI の未来～
日経クロストレンド 編
日本ディープラーニング協会 著
日経BP社
あらゆる産業とその業務を変革し、新たな事業を生み出す可能性を秘めるディープラーニングをベースとする AI の技術発展を、事例を分類して紹介。「創作」分野での事例や、ビジネス活用する企業が直面する疑問も収録する。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:10./ 291p
978-4-296-10054-5
本体 ¥1,800+税

解決!空き家問題(ちくま新書　1153)
中川　寛子 著
筑摩書房
親が空き家を残しても、もう怖くない! 過剰な住宅供給のツケで、顕在化する空き家問題。空き家の現状と活用を阻む 4 つの要因を分析し、それを打開する試みを、3 つの立地条件別に豊富な具体例で紹介する。

日本経済新聞 2019/01/12

2015:11./ 253p
978-4-480-06858-3
本体 ¥820+税

歴史を知る楽しみ～史料から日本史を読みなおす～(ちくまプリマー新書　314)
家近　良樹 著
筑摩書房
それ以前にも外国船は日本に来ていたのに、なぜペリー来航が教科書に載っているの? 西郷隆盛がいまでも愛される理由とは? 幕末史の泰斗が、歴史の本当の面白さを教える。教科書では習わない意外な史実が満載。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:12./ 174p
978-4-480-68339-7
本体 ¥780+税

平成の政治
御厨　貴、芹川　洋一、ジェラルド・カーティス、大田　弘子、蒲島　郁夫 著
日本経済新聞出版社
平成の日本政治を分析。研究者、行政の責任者、ジャーナリストとして、深く日本の政治に関わる論者らが、激動の 30 年の真相を語る。2018 年 6?9 月の対談を書籍化。「平成政権史」姉妹編。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 272p
978-4-532-17649-5
本体 ¥1,800+税

MARUZEN-YUSHODO

メジャー・ホワット・マターズ～伝説のベンチャー投資家が Google に教えた成功手法 OKR～

ジョン・ドーア、土方 奈美 著

日本経済新聞出版社

目標に向かって前進できないのは、やり方が間違っているからだ! シリコンバレーのベンチャー投資家が Google に教えた、世界レベルで戦うためのシンプルで確実な成功手法「OKR」について、実例を交えて紹介する。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:10./ 398p
978-4-532-32240-3
本体 ¥1,800+税

戦争と図書館～英国近代日本語コレクションの歴史～

小山 騰 著

勉誠出版

英国 4 大日本語コレクションのうちの 2 大コレクションに当たるケンブリッジ大学図書館とロンドン大学東洋アフリカ学院図書館が、日本との戦争を契機に近代日本語コレクションを確立した経緯を明らかにする。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 4p,289p,7p
978-4-585-20066-6
本体 ¥3,800+税

「社会分裂」に向かうフランス～政権交代と階層対立～

尾上 修悟 著

明石書店

パリ「五月革命」から 50 年。エリートと民衆の間の壁は高くなり、社会の分裂は先鋭化した-。フランス大統領選の社会的背景などを取り上げ、マクロンが新大統領に選出されたフランスの政権交代と階層対立について論じる。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 375p
978-4-7503-4759-2
本体 ¥2,800+税

世界の空き家対策～公民連携による不動産活用とエリア再生～

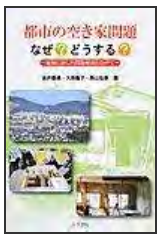
米山 秀隆、小林 正典、室田 昌子、小柳 春一郎、倉橋 透、周藤 利一 著

学芸出版社

海外ではなぜ空き家が放置されないのか。多彩な政策と公民連携による空き家リサイクルを行うフランス、行政主導で空き家を市場に戻すイギリスなど、海外各国の空き家を「負動産」にしないエリア再生術を紹介する。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:8./ 206p
978-4-7615-2686-3
本体 ¥2,000+税



都市の空き家問題なぜ?どうする?～地域に即した問題解決にむけて～

西山 弘泰 編

古今書院

都市部において増加する空き家について、東京大都市圏および地方都市における実態を報告。さらに都市部における空き家利活用の実践例や、自治体や地域住民などによる空き家問題への対応を紹介する。

日本経済新聞 2019/01/12

2016:3./ 6p,212p
978-4-7722-5291-1
本体 ¥3,200+税

MARUZEN-YUSHODO

『ニルスのふしぎな旅』と日本人～スウェーデンの地理読本は何を伝えてきたのか～

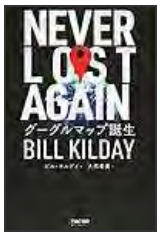
村山　朝子 著

新評論

国土愛の涵養を目的としたスウェーデンの地理読本だった「ニルスのふしぎな旅」は、日本で繰り返し訳されてきた。各訳者や出版社の人たちは何に魅せられてきたのか。地理教育が専門の著者が謎を解き、その意味を探る。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 18p,280p
978-4-7948-1106-6
本体 ¥2,500+税



NEVER LOST AGAIN～グーグルマップ誕生～

ビル・キルデイ、大熊　希美 著

TAC出版

「グーグルマップ」の生みの親ジョン・ハンケの学生時代からの友人で同僚のビル・キルデイが、Keyhole 社の立ち上げ、Google による企業買収、そして「グーグルマップ」が世界的な成功を得るまでの軌跡を描く。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 463p
978-4-8132-7160-4
本体 ¥1,800+税

バイオハッキング～テクノロジーで知覚を拡張する～

カーラ・プラトーニ、田沢　恭子 著

白揚社

テクノロジーや文化で脳や身体を“ハッキング”することで「世界の感じ方」はどう変わるか? 五感に関する最新研究から仮想現実(VR)や拡張現実装置の開発、バイオハッカーによる未知の感覚の追求まで、知覚の未来を探る。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:11./ 437p
978-4-8269-0205-2
本体 ¥2,700+税

ピーポー&メー～戸川純エッセー集～(ele-king books)

戸川　純 著

日販アイ・ピー・エス

遠藤ミチロウ、町田康、三上寛、ロリータ順子、蜷川幸雄、岡本太郎…。戸川純による、まるで短編小説のような人物列伝。『ele-king』連載をもとに書き下ろし等を加えて単行本化。

日本経済新聞 2019/01/12

2018:12./ 190p
978-4-909483-14-0
本体 ¥2,300+税

タコの心身問題～頭足類から考える意識の起源～

ピーター・ゴドフリー=スミス、夏目　大 著

みすず書房

進化は「まったく違う経路で心を少なくとも 2 度、つくった」。1 つはヒトを含む脊索動物、もう 1 つはタコやイカといった頭足類。知能の高さゆえの行動など、人間とはまったく異なる心と知性をもつ頭足類の生態を明らかにする。

日本経済新聞 2019/01/12、朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 254p,39p
978-4-622-08757-1
本体 ¥3,000+税

無子高齢化～出生数ゼロの恐怖～

前田　正子 著

岩波書店

少子化対策が叫ばれながら、下がり続ける日本の出生率。そのカギは、就職氷河期世代、団塊ジュニア・ポスト団塊ジュニアの未婚化にあった-。一貫して子育てを研究してきた著者が、少子化対策失敗の歴史と対抗策を記す。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:11./ 15p,219p
978-4-00-002233-0
本体 ¥1,700+税

MARUZEN-YUSHODO

一発屋芸人の不本意な日常
山田ルイ53世 著
朝日新聞出版
人生、諦めが肝心である-。お笑いコンビ・髭男爵のツッコミ担当の山田ルイ 53 世が、「一発屋のプライド」や「テレビ局で味わう「場違い感」」などを、毒舌交じりに綴る。『withnews』連載を大幅加筆して書籍化。

日本経済新聞 2019/01/19

2019:1./ 238p
978-4-02-251588-9
本体 ¥1,300+税

それでも空は青い
荻原 浩 著
KADOKAWA
年上の彼女との距離が縮まらないのは、彼女が“牛男”と暮らしているせいで…。「僕と彼女と牛男のレシピ」ほか、人づきあいに悩む背中をそっと押してくれる 7 つの物語を収録。『小説野性時代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:11./ 285p
978-4-04-107399-5
本体 ¥1,500+税

内戦の日本古代史～邪馬台国から武士の誕生まで～(講談社現代新書 2505)
倉本 一宏 著
講談社
古代国家はいかに建設され、中世社会はいかに胎動したのか? 邪馬台国・狗奴国の戦い、壬申の乱、天慶の乱、前九年・後三年の役…。古代史上の内戦から日本という国の特質に迫る。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:12./ 317p
978-4-06-514189-2
本体 ¥920+税

神話学入門(講談社学術文庫 2537)
松村 一男 著
講談社
言語、宗教、科学、自然など、あらゆる事象と絡み、語り継がれてきた神話。それはどのように広がり、研究され、利用され、変節したのか? デュメジルら神話研究者 6 人の事績をたどり、果たした役割を明らかにする。

日本経済新聞 2019/01/19

2019:1./ 257p
978-4-06-514523-4
本体 ¥1,070+税

通信の世紀～情報技術と国家戦略の一五〇年史～(新潮選書)
大野 哲弥 著
新潮社
明治以降の日本の通信の歴史を、その時代の技術はもちろん、政治、外交などの社会状況を含め総合的に検討することにより、現代社会における通信の特質を探る。世界を動かした「見えない武器」の近現代史。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:11./ 319p
978-4-10-603834-1
本体 ¥1,400+税

イスラエルがすごい～マネーを呼ぶイノベーション大国～(新潮新書 791)
熊谷 徹 著
新潮社
第 2 のシリコンバレーと呼ばれ、その技術に対して世界中のマネーが流入しているイスラエル。とりわけドイツと中国が急接近し、日本は取り残されている。欧州から取材し続けてきた著者が、出遅れた日本の取るべき道を明示する。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:11./ 237p
978-4-10-610791-7
本体 ¥780+税

MARUZEN-YUSHODO

スッキリ中国論～スジの日本、量の中国～
田中　信彦　著
日経BP社
日本人をイラつかせる中国人の行動の理由が、ロジカルにスッキリわかる! 中国人がものを判断し、反応する時のクセや相場、それらが中国社会のどのような仕組みから生まれたのかを解説する。『WISDOM』連載等を改稿。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:10./ 349p
978-4-296-10046-0
本体 ¥1,500+税

大いなる聖戦～第二次世界大戦全史～<上>
H.P.ウィルモット、等松　春夫　著
国書刊行会
20 世紀の戦争と戦略に関する研究を進めてきた英国の歴史家ウィルモットが描く第二次世界大戦全史。上は、「新しい世界と新しい戦争」「征服戦争の階梯」「世界戦争への拡大」を収録。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:9./ 467p
978-4-336-06292-5
本体 ¥4,600+税

大いなる聖戦～第二次世界大戦全史～<下>
H.P.ウィルモット、等松　春夫　著
国書刊行会
20 世紀の戦争と戦略に関する研究を進めてきた英国の歴史家ウィルモットが描く第二次世界大戦全史。下は、「転換点:1943 年」「時間・空間・戦略」「決着の時」「結論」を収録。戦役索引・総索引等も掲載。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:9./ 463p,27p
978-4-336-06293-2
本体 ¥4,600+税

愛の本～他者との<つながり>を持て余すあなたへ～(ちくま文庫　か 76-1)
筑摩書房
他者とつながりたい、という強い思いとは裏腹に、人間関係に悩む人は多い。他者とのつながりの中で、幸福をデザインすることの大切さを語る。幸せの扉への社会哲学的アプローチ。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:12./ 201p
978-4-480-43563-7
本体 ¥640+税

貧困の経済学<上>
マーティン・ラヴァリオン、柳原　透　著
日本評論社
過去 200 年の世界の貧困削減の趨勢と貧困観の変化について概説し、貧困の測定と評価に関する方法論とその実地適用として、厚生の測定、貧困・不平等指標などを解説。全経済と部門別の主要な政策の貧困への影響も検討する。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:9./
18p,421p,38p
978-4-535-55863-2
本体 ¥3,800+税

貧困の経済学<下>
マーティン・ラヴァリオン、柳原　透　著
日本評論社
過去 200 年の世界の貧困削減の趨勢と貧困観の変化について概説し、貧困の測定と評価に関する方法論とその実地適用として、厚生の測定、貧困・不平等指標などを解説。全経済と部門別の主要な政策の貧困への影響も検討する。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:9./
10p,p425?803 115p
978-4-535-55864-9
本体 ¥3,800+税

MARUZEN-YUSHODO

共通語の世界史～ヨーロッパ諸言語をめぐる地政学～
クロード・アジェージュ、糟谷　啓介、佐野　直子　著
白水社
ヨーロッパに息づく少数言語から、アメリカで息まく連合言語まで！ ことばが、多様な民族間で「シェアされてきた歴史」を語る。言語分布地図・言語名索引付き。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:11./ 357p,9p
978-4-560-09659-8
本体 ¥4,600+税

エドモンド・モレル～鉄道御普請最初より～(ミネルヴァ日本評伝選)
林田　治男　著
ミネルヴァ書房
英国人初代技師長として鉄道建設を指揮し、日本の近代化を支えたエドモンド・モレル。功績が高く評価されている彼の経歴を日英の膨大な一次資料から明らかにし、「3-6 軌間」(3 フィート 6 インチ)決定の舞台裏も描く。

日本経済新聞 2019/01/19

2018:8./ 20p,336p,6p
978-4-623-08424-1
本体 ¥3,500+税

パーキンソンの法則(至誠堂選書)
シリル・ノースコート・パーキンソン　著
至誠堂
日本経済新聞 2019/01/19

1981:4./ 174p
978-4-7953-1912-7
本体 ¥1,000+税

オスマン帝国～繁栄と衰亡の 600 年史～(中公新書　2518)
小笠原　弘幸　著
中央公論新社
アジア・アフリカ・ヨーロッパを跨ぐ広大な版図を築いたオスマン帝国。王朝の黎明、玉座を巡る王子達の争い、ヨーロッパへの進撃、近代化の苦闘など、滅亡までの 600 年の軌跡を描き、空前の大帝国の内幕に迫る。

日本経済新聞 2019/01/19、読売新聞 2019/01/20

2018:12./ 4p,319p
978-4-12-102518-0
本体 ¥900+税

自由と規律～イギリスの学校生活～　改版(岩波新書　青版　C-141)
池田潔　著
岩波書店
ケンブリッジ、オックスフォードの両大学は、その前過程のパブリック・スクールこそ、イギリス人の性格形成に基本的な重要性をもっている。若き日をそこに学んだ著者が体験を通して興味深く描く。

日本経済新聞 2019/01/26

1993:4./ 171p
978-4-00-412141-1
本体 ¥720+税

不敗のドキュメンタリー～水俣を撮りつづけて～(岩波現代文庫)
土本　典昭　著
岩波書店
記録映画は、ほとんど人と出遭う事業-。水俣病という複雑で巨大なテーマに挑み、現代の古典たる作品群を生み出した映画作家、土本典昭。時代と格闘したその思想と仕事を、1960?2000 年代の文章を精選して伝える。

日本経済新聞 2019/01/26

2019:1./ 15p,325p,8p
978-4-00-603311-8
本体 ¥1,320+税

MARUZEN-YUSHODO

ニューカルマ(集英社文庫 し 59-2)
新庄 耕 著
集英社
大手企業の関連会社に勤務するユウキ。リストラ騒動で将来への不安が募る中、救いを求めたのはネットワークビジネスだった。成功と転落を経験し、仕事も友人も失った彼が決断した最終手段とは…。

日本経済新聞 2019/01/26

2019:1./ 294p
978-4-08-745831-2
本体 ¥600+税

防衛の務め～自衛隊の精神的拠点～
槙 智雄 著
中央公論新社
民主主義時代における自衛隊のあり方、そして幹部自衛官の理想の姿とはー。初代防衛大学校長・槙智雄が入校式や卒業式、開校祭や新年祝賀式の際に学生に語った式辞類を収録。

日本経済新聞 2019/01/26

2009:11./ 324p
978-4-12-004078-8
本体 ¥2,000+税

承久の乱～真の「武者の世」を告げる大乱～(中公新書 2517)
坂井 孝一 著
中央公論新社
後鳥羽上皇は無謀にも鎌倉幕府打倒を企て、返り討ちにあったのか? 公武の力関係を劇的に変え、中世社会のあり方を決定づけた大事件「承久の乱」を、理解しやすいよう現代社会と比較しながら描き出す。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:12./ 6p,277p
978-4-12-102517-3
本体 ¥900+税

一切なりゆき～樹木希林のことば～(文春新書 1194)
樹木 希林 著
文藝春秋
名女優が語り尽くした生と死、演技、男と女。さまざまな雑誌に掲載された樹木希林の言葉をまとめる。ユーモアと洞察に満ちた希林流生き方のエッセンスが満載。樹木希林年譜、内田也哉子による喪主代理の挨拶も収録。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:12./ 215p
978-4-16-661194-2
本体 ¥800+税

10 億分の 1 を乗りこえた少年と科学者たち～世界初のパーソナルゲノム医療はこうして実現した～
マーク・ジョンソン、キャスリーン・ギャラガー、梶山 あゆみ 著
紀伊國屋書店出版部
10 億人にひとりレベルの奇病を患った 2 歳の少年。万策つきた医師たちは、ゲノム解析により原因遺伝子を突きとめるという大胆な試みに踏み切る…。世界初のパーソナルゲノム医療が実現するまでを綴った医療ドキュメンタリー。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:11./ 321p
978-4-314-01165-5
本体 ¥1,800+税

おとぎカンパニー
田丸 雅智 著
光文社
新人 OL が会社で見つけた鏡に「鏡よ鏡、同期で一番仕事ができるのは、だぁれ?」と話しかけると…。「白雪姫」などみんなが知ってる童話を、現代ショートショートの名手が大胆にアレンジした全 14 編を収録する。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:12./ 222p
978-4-334-91257-4
本体 ¥1,400+税

帰還～父と息子を分かつ国～

ヒシャーム・マタール、金原　瑞人、野沢　佳織　著

人文書院

1979 年リビア。反体制運動のリーダーだった父はエジプトに亡命後、拉致された。そして 2012 年、息子である著者は、故国リビアに「帰還」し…。旅の記録と共に、家族の歴史、自身の心の軌跡を綴ったノンフィクション。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:11./ 309p
978-4-409-13041-4
本体 ¥3,200+税

東京格差～浮かぶ街・沈む街～(ちくま新書　1374)

中川　寛子　著

筑摩書房

浮かぶ街、沈む街の二極化が進行している東京。沈むことなく活性化していく街はどこか? 住民自身がエリア・マネジメントに携わり、街の価値を創生する、新しい事例を多数紹介する。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:12./ 282p
978-4-480-07183-5
本体 ¥880+税

移民の経済学

ベンジャミン・パウエル　編

東洋経済新報社

移民が来ると国が貧しくなる?移民のもたらす経済的、文化的、政治的な効果についての研究成果を提示。さらに、これまでの研究成果、およびそれらとは異なった価値観、視点に基づく、様々な移民政策の功罪も論じる。

日本経済新聞 2019/01/26

2016:10./
14p,313p,35p
978-4-492-31488-3
本体 ¥2,800+税

愉楽にて

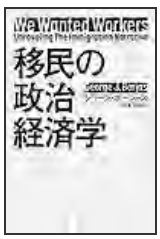
林　真理子　著

日本経済新聞出版社

東京・京都・シンガポールを舞台に、家柄にも資産にも恵まれた 50 代の男たちが甘美な情事を重ねていく。その果てに-。絢爛たる官能美の世界を描く長編小説。『日本経済新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:11./ 497p
978-4-532-17148-3
本体 ¥1,800+税



移民の政治経済学

ジョージ・ボージャス、岩本　正明　著

白水社

移民は商品ではない、生身の人間だ-。労働市場に与えるインパクトから財政への影響まで、キューバ移民でハーバード教授が語った、移民をめぐる通説を根底から覆す記念碑的著作。

日本経済新聞 2019/01/26

2017:12./ 227p,12p
978-4-560-09591-1
本体 ¥2,200+税

日本の労働市場～経済学者の視点～

川口　大司　編

有斐閣

労働経済学が各種の問題をどのように分析しどこまで解明したか、そして残る研究課題は何かを概観。各問題の現状を分析したうえで、その問題への経済学的アプローチをどうするのか説明し、それに基づく研究結果を紹介する。

日本経済新聞 2019/01/26

2017:11./ 14p,415p
978-4-641-16512-0
本体 ¥3,600+税

MARUZEN-YUSHODO

グローバル化の光と影～日本の経済と働き方はどう変わったのか～
高橋　信弘 著
晃洋書房
グローバル化が経済、産業、企業経営、働き方、そして生活にもたらした恩恵と悪影響を具体的に描き出し、グローバル化の影響とそこから得られる教訓を通じて、困難な時代を生き抜く方法を探る。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:11./ 12p,248p
978-4-7710-3120-3
本体 ¥2,600+税

Tap～スマホで買ってしまう9つの理由～
アニンディヤ・ゴーシュ、加藤　万里子 著
日経BP社
状況、場所、時間、天気、混雑度、端末×フォーマット…。「9 つの力」が購買行動を決定づける! 気鋭の経営学者が、最新研究と膨大なデータをもとに消費者の行動パターンを明らかにし、消費者を動かす法則を解説する。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:11./ 356p,24p
978-4-8222-5599-2
本体 ¥2,000+税

「演劇の街」をつくった男～本多一夫と下北沢～
本多　一夫、徳永　京子 著
ぴあ
世田谷区下北沢にある本多劇場グループ 8 つの劇場は、すべてたったひとりの人物が一代でオープンし、経営している。世界でも類をみない個人劇場主である本多一夫の情熱の源を、本人の言葉と演劇人たちの証言で解き明かす。

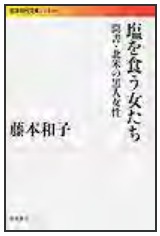
日本経済新聞 2019/01/26

2018:10./ 270p
978-4-8356-3849-2
本体 ¥2,500+税

時の過ぎゆくままに
佐々木　史朗、田中　ひろこ 編
佐々木　史朗 著
ワイズ出版
60 年代・演劇の現場から、テレビ興隆期の放送現場へ、そして ATG の社長に…。半世紀以上にわたり、日本のカルチャーシーンの変動に立ち会い先頭を走ってきた映画プロデューサー・佐々木史朗の全貌がわかる一冊。

日本経済新聞 2019/01/26

2018:11./ 353p
978-4-89830-322-1
本体 ¥2,750+税



塩を食う女たち～聞書・北米の黒人女性～(岩波現代文庫)
藤本　和子 著
岩波書店
アフリカから連れてこられた黒人女性たちは、アメリカの狂気の中をいかにして生き延びたのか。1960 年代の公民権運動・ブラックパワーの高まりと挫折を乗り越えた 1980 年代に、多くの黒人女性と著者が語り合った記録。

毎日新聞 2019/01/05

2018:12./ 5p,262p
978-4-00-602303-4
本体 ¥980+税

大学大崩壊～リストラされる国立大、見捨てられる私立大～(朝日新書 693)
木村　誠 著
朝日新聞出版
「量か質か?」を迫られる私立大学、競争に疲れ切った国立大学、留学生頼みの「グローバル化」、奮闘を続ける大学・学部…。長く日本の様々な大学を取材してきた著者が、すべて実名、最新データで「明」と「暗」を解明する。

毎日新聞 2019/01/05

2018:11./ 231p
978-4-02-273790-8
本体 ¥790+税

芙蓉の干城(たて)
松井　今朝子 著
集英社
日中戦争の足音迫る、昭和 8 年東京。歌舞伎の殿堂に現われた右翼結社の大幹部と芸妓が惨殺。江戸歌舞伎作者の末裔で、切れ者の大学講師・桜木治郎が、怪事件の謎に挑む!『小説すばる』連載を加筆・修正し単行本化。

毎日新聞 2019/01/05

2018:12./ 329p
978-4-08-771170-7
本体 ¥1,650+税

燃えよ、あんず
藤谷　治 著
小学館
一癖も二癖もある面々が集う、下北沢の小さな書店。「ロリータ」愛読者、大麻合法を主張する男、そして本を買わずに店で油を売る久美ちゃん。そんな彼女に新婚間もなく不幸が訪れ…。『きらら』掲載を改題、加筆して単行本化。

毎日新聞 2019/01/05

2018:11./ 407p
978-4-09-386522-7
本体 ¥1,900+税

杳子・妻隠　改版(新潮文庫)
古井　由吉 著
新潮社
毎日新聞 2019/01/05

2004:3./ 264p
978-4-10-118501-9
本体 ¥520+税

火花
又吉　直樹 著
文藝春秋
奇想の天才である一方で人間味溢れる神谷、彼を師と慕う後輩徳永。芸人の 2 人が運命のように出会ってから劇は始まった-。笑いとは何か、人間が生きるとは何なのか。『文學界』掲載を書籍化。

毎日新聞 2019/01/05

2015:3./ 148p
978-4-16-390230-2
本体 ¥1,200+税

恋愛制度、束縛の 2500 年史～古代ギリシャ・ローマから現代日本まで～(光文社新書　982)
鈴木　隆美 著
光文社
ヨーロッパにおける恋愛概念の歴史的な変遷を追うとともに、それが日本に輸入され、いかに変質したのかを軽妙な筆致で綴る。日本とヨーロッパの恋愛のあり方を比較し、恋愛についてより深く考える一冊。

毎日新聞 2019/01/05

2018:12./ 369p
978-4-334-04388-9
本体 ¥920+税

人間の大地(光文社古典新訳文庫　KA サ 1-3)
サン=テグジュペリ 著
光文社
駆け出しの日々、勇敢な僚友たちのこと、アフリカや南米での人々との交流…。「ちいさな王子」や「夜間飛行」の原型になったエピソードを、臨場感豊かに哲学的に語る。パイロットとしての壮絶な体験から生まれた自伝的作品。

毎日新聞 2019/01/05

2015:8./ 349p
978-4-334-75314-6
本体 ¥980+税

MARUZEN-YUSHODO

草の葉～詩集～(第三文明選書 12)
W.ホイットマン、富田 砕花 著
第三文明社
“人の自主”をわたしは歌う、素朴な、個の人間を、が、それにもかかわらず口にする、“民主的”という言葉を、“大衆と一緒に”という言葉を。(「“人の自主”をわたしは歌う」より) 民衆詩人 W.ホイットマンの詩集。

毎日新聞 2019/01/05

2018:7./ 429p
978-4-476-18012-1
本体 ¥2,000+税

帝国の陰謀(ちくま学芸文庫 ハ 1-9)
蓮實 重彦 著
筑摩書房
19 世紀中葉、一組の義兄弟による陰謀から生まれたフランス第二帝政。「私生児」にして、のちの内務大臣・立法院議長の義弟ド・モルニーが遺した二つのテクストを読解し、近代的現象の本質に迫る。

毎日新聞 2019/01/05

2018:12./ 167p
978-4-480-09895-5
本体 ¥1,000+税

サイバー空間を支配する者～21 世紀の国家、組織、個人の戦略～
持永 大、村野 正泰、土屋 大洋 著
日本経済新聞出版社
データが支配する経済、サイバー攻撃、個人情報の利用・保護問題…。恩恵と共に脅威が入り混じるサイバー空間の実態、全体像を理解するための枠組みを提示し、周回遅れの日本の課題も明らかにする。

毎日新聞 2019/01/05

2018:8./ 356p
978-4-532-35786-3
本体 ¥2,300+税

トランプ貿易戦争～日本を揺るがす米中衝突～
木内 登英 著
日本経済新聞出版社
米中の関税引き上げの応酬は、序章にすぎない。迫る景気後退、中国の金融バブル崩壊、超円高など、日本経済を襲う最悪のシナリオに備えよ! 米中貿易戦争が世界経済や日本経済に与える深刻な影響を試算値を交えて論じる。

毎日新聞 2019/01/05

2018:10./ 271p
978-4-532-35793-1
本体 ¥1,800+税

鷹と生きる～鷹使い・松原英俊の半生～
谷山 宏典 著
山と渓谷社
鷹使いとしての生活を 40 年以上にわたって貫き通してきた松原英俊。「生きものとしての逞しさ」をもつ松原の半生を綴り、その考え方、生き方を伝える。これからの世界を強く生き抜くためのヒントを学べる一冊。

毎日新聞 2019/01/05

2018:12./ 254p
978-4-635-31032-1
本体 ¥1,600+税

オフショア化する世界～人・モノ・金が逃げ込む「闇の空間」とは何か?～
ジョン・アーリ、須藤 廣、濱野 健、高岡 文章 著
明石書店
新自由主義世界の背後に蠢く、富裕層が一人勝ちするための秘密の空間、現代の危機の正体を解明。いかにして富裕層が賃金階級格差の戦いを遂行し、勝利してきたのかを、オフショアリングの戦略について展開しながら詳述する。

毎日新聞 2019/01/05

2018:9./ 322p
978-4-7503-4715-8
本体 ¥2,800+税

MARUZEN-YUSHODO

もどってきた鏡(フィクションの楽しみ)
アラン・ロブ=グリエ、芳川　泰久　著
水声社
ヌーヴォーロマンの旗手であり、実験的な文学を世に出してきた作家ロブ=グリエの知られざる世界。幼少期の思い出から作家になってからの講演旅行まで、さまざまな自伝的回想と幻想的なフィクションを織り交ぜながら綴る。

毎日新聞 2019/01/05

2018:10./ 302p
978-4-8010-0362-0
本体 ¥2,800+税

パワー・オブ・クリエイティビティ～個性と才能を思いっきり引き出そう!～
ケン・ロビンソン、尼丁　千津子　著
日経BP社
能力開発・人材育成の第一人者ケン・ロビンソンが伝説のプレゼン「学校教育は創造性を殺してしまっている」で示した教育の問題点の解決法を伝授。生まれもった能力(想像力・創造性・革新性)をフルに発揮する方法を提示する。

毎日新聞 2019/01/05

2018:10./ 362p
978-4-8222-5598-5
本体 ¥2,000+税

イオンを創った女～評伝小嶋千鶴子～
東海　友和　著
プレジデント社
岡田屋呉服店という家業を、ジャスコという企業へ、さらにはイオングループへと発展させた陰の功労者・小嶋千鶴子。岡田卓也の実姉として数々の合併を成功・発展させた彼女の人生と経営哲学を紹介する。

毎日新聞 2019/01/05

2018:11./ 218p
978-4-8334-2292-5
本体 ¥1,600+税

自衛隊防災 BOOK～自衛隊 OFFICIAL LIFE HACK CHANNEL～
マガジンハウス 編
マガジンハウス
人命救助、食料の確保や給水、緊急措置…。危機管理のプロ・自衛隊に伝わる、災害時のトラブルに対処するノウハウを、多数の写真でわかりやすく紹介する。日常生活に役立つテクニックも満載。

毎日新聞 2019/01/05

2018:8./ 155p
978-4-8387-3010-0
本体 ¥1,200+税

ガザに地下鉄が走る日
岡　真理　著
みすず書房
現代の強制収容所と言われるパレスチナ・ガザ地区。移動の自由はなく、物資は制限され、ミサイルが日常的に撃ち込まれる。長年パレスチナと関わり続ける著者が、絶望的な状況でなお人間的に生きる人びととの出会いを伝える。

毎日新聞 2019/01/05、朝日新聞 2019/01/26

2018:11./ 305p
978-4-622-08747-2
本体 ¥3,200+税

給食の歴史(岩波新書 新赤版 1748)
藤原　辰史　著
岩波書店
学校の給食は、子どもの味覚に対する権力行使ともいえる側面と、未来へ命をつなぎ新しい教育を模索する側面とを持つ。貧困、災害、運動、教育、世界という 5 つの視角から知られざる歴史に迫り、今後の可能性を探る。

毎日新聞 2019/01/05、東京・中日新聞 2019/01/20

2018:11./
13p,268p,17p
978-4-00-431748-7
本体 ¥880+税

MARUZEN-YUSHODO

熱帯
森見　登美彦 著
文藝春秋
沈黙読書会で見かけた奇妙な本「熱帯」。それは、どうしても「読み終えられない本」だった-。結末を求めて悶えるメンバーが集結し、世紀の謎に挑む! ウェブ文芸誌『マトグロッソ』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2019/01/05、東京・中日新聞 2019/01/20

2018:11./ 523p
978-4-16-390757-4
本体 ¥1,700+税

歴史の中の感情～失われた名誉/創られた共感～
ウーテ・フレーフェルト、櫻井　文子 著
東京外国語大学出版会
形や意味を変えながら「文化的な記憶」として歴史の中に保存されてきた<感情>。感情史研究の第一人者が、ヨーロッパの「名誉」と「共感」がたどった歴史的な変遷を中心に、その諸相を読み解く。大学で行われた講演を書籍化。

毎日新聞 2019/01/05、読売新聞 2019/01/20

2018:11./ 219p,47p
978-4-904575-69-7
本体 ¥2,400+税

アフター・ヨーロッパ～ポピュリズムという妖怪にどう向きあうか～
イワン・クラステフ、庄司　克宏 著
岩波書店
移民革命、能力主義的エリートへの反乱等、内部的危機に直面している EU 諸国のリベラル・デモクラシー体制。ソ連解体と東欧革命を体験したブルガリアの知識人が、透徹した歴史的視座から「アフター・ヨーロッパ」を考察する。

毎日新聞 2019/01/13

2018:8./ 6p,126p,6p
978-4-00-061286-9
本体 ¥1,900+税

トラブゾンの猫～小田実との最後の旅～
玄　順恵 著
岩波書店
小田実は終生、私のことを妻と呼ばず「人生の同行者」と呼んだ-。やがて訪れる別れの前、「東のギリシャ」への、小田実との最後の旅を通して、彼の等身大の姿、思想の底流を伝える。沓掛良彦によるエッセイも収録。

毎日新聞 2019/01/13

2018:10./ 7p,150p
978-4-00-061298-2
本体 ¥1,700+税

国宝<上> 青春篇
吉田　修一 著
朝日新聞出版
1964 年元旦、長崎の老舗料亭で、この国の宝となる役者・立花喜久雄は生まれた。この世ならざる美貌は人々を巻き込み、喜久雄の人生を思わぬ域にまで連れ出し…。『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2019/01/13

2018:9./ 351p
978-4-02-251565-0
本体 ¥1,500+税

国宝<下> 花道篇
吉田　修一 著
朝日新聞出版
技をみがき、道を究めようともがく男たち。血族との深い絆と軋み、信頼と裏切り。舞台、映画、テレビと芸能界の転換期を駆け抜け、その頂点に登りつめた先に何が見えるのか? 『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2019/01/13

2018:9./ 353p
978-4-02-251566-7
本体 ¥1,500+税

パンとペン～社会主義者・堺利彦と「売文社」の闘い～(講談社文庫 く71-1)
黒岩 比佐子 著
講談社
夏目漱石から松本清張まで多くの作家との意外な接点を持ち、日本初の編集プロダクションかつ翻訳会社を率いた堺利彦。「弾圧の時代」をユーモアと筆の力で生き抜いた社会主義運動家に、文学から光をあてる。

毎日新聞 2019/01/13

2013:10./ 634p
978-4-06-277661-5
本体 ¥1,010+税

本屋の新井
新井 見枝香 著
講談社
本は日用品です。だから毎日売ってます。わさわさっと選んでレジにどん。それでいい-。芥川賞・直木賞より売れることもある「新井賞」を設立した現役書店員によるコラム集。出版業界の専門紙『新文化』連載に加筆し書籍化。

毎日新聞 2019/01/13

2018:10./ 191p
978-4-06-513413-9
本体 ¥1,300+税

東欧音楽綺譚～クルレンツィス・跋行の来訪神・ペトルーシュカ～
伊東 信宏 著
音楽之友社
著者の専門分野である東欧の民俗音楽にとどまらず、新鋭指揮者のクルレンツィス、ヴァイオリニストのコパチンスカヤといった旬の話題まで、音楽・芸術・文化を縦横無尽に語り尽くす。『レコード芸術』連載を単行本化。

毎日新聞 2019/01/13

2018:9./ 249p
978-4-276-21076-9
本体 ¥2,300+税

SDGs 経営の時代に求められる CSR とは何か
関 正雄 著
第一法規
企業は SDGs(持続可能な開発目標)をどう理解し、どう取り組んだらよいか、CSR とはどういう関係にあるかを解説。SDGs への取り組み実践のヒントも 16 のトピックでまとめる。

毎日新聞 2019/01/13

2018:11./ 7p,211p
978-4-474-06171-2
本体 ¥2,300+税

西洋の自死～移民・アイデンティティ・イスラム～
ダグラス・マレー、町田 敦夫 著
東洋経済新報社
シリア難民・移民問題をめぐり当事者、賛成派、反対派などを徹底取材した英国の新進気鋭ジャーナリストが、欧州と西洋文明の終焉を予測。移民の受け入れによって、欧州の社会や文化が壊死しつつある姿を克明に描く。

毎日新聞 2019/01/13

2018:12./ 512p,14p
978-4-492-44450-4
本体 ¥2,800+税

平成政権史(日経プレミアシリーズ 390)
芹川 洋一 著
日本経済新聞出版社
自民単独政権の終焉、バブル崩壊、湾岸戦争、人口減少、ネット経済の勃興…。平成 30 年間の激動のなか、日本の政治は何をしてきたのか。長く取材を続けるジャーナリストが、当時の記事も織り込み紡ぐ、全 10 編の政権物語。

毎日新聞 2019/01/13

2018:11./ 299p
978-4-532-26390-4
本体 ¥920+税

MARUZEN-YUSHODO

ラグビーもっとも受けたいコーチングの授業
徳増　浩司　著
ベースボールマガジン社
チームと個人のとらえ方、練習計画の立て方と練習の進め方、練習を効果的に進めるための考え方、創造的なコーチであるための思考…。ラグビーのコーチングを、自身の体験に基づいて、体系化して紹介する。

毎日新聞　2019/01/13

2018:10./ 199p
978-4-583-11180-3
本体 ¥1,600+税

国民とともに歩まれた平成の 30 年～御即位 30 年御成婚 60 年～
宮内庁侍従職　著
毎日新聞出版
国民に思いを致し、心を寄せて幸せと安寧を祈り続ける天皇、皇后両陛下。その平成の御代のご足跡を約 200 点の写真でたどり、ゆかりのお品なども紹介する。平成 31 年 1 月・4 月に開催の同名展覧会の図録。

毎日新聞　2019/01/13

2019:1./ 183p
978-4-620-60674-3
本体 ¥2,500+税

朝毎読～蜂飼耳書評集～
蜂飼　耳　著
青土社
読書が私のいまをつくる。本と出会う。思いがけず残る言葉。その蓄積がいまをつくっていると、ふと気づく-。詩人・作家の蜂飼耳が『読売新聞』『朝日新聞』に寄せた書評を集成。『毎日新聞』掲載コラムも収録する。

毎日新聞　2019/01/13

2018:10./ 204p
978-4-7917-7114-1
本体 ¥2,000+税

<異>なる関西
日本近代文学会関西支部編集委員会　編
田畑書店
織田作之助、神戸モダニズム…。1920・30 年代の「関西」に育まれた文芸文化を主な対象に、人・メディア・社会を横断的かつ立体的に再構成することで、既成の「関西」のイメージを覆す。4 回にわたるシンポジウムの成果。

毎日新聞　2019/01/13

2018:11./ 366p,19p
978-4-8038-0356-3
本体 ¥2,800+税

イナカをツクル～わくわくを見つけるヒント～
嵩　和雄、筒井　一伸　著
コモンズ
「自分らしい暮らし」を求めて、農山村へ移住を望む若者が増加中！ 自身の経験を基に、生活の場であるコミュニティを主語とした“わくわく”を感じられる地域の創生の現場を紹介する。『日本農業新聞』連載を加筆・修正。

毎日新聞　2019/01/13

2018:9./ 111p
978-4-86187-154-2
本体 ¥1,300+税

90 年代のこと～僕の修業時代～
堀部　篤史　著
夏葉社
ヒップホップ、レンタルビデオ、タウン情報誌。スマートフォンもアマゾンも Google もなかったあの頃。僕はどこで何をしていたのだろう-。自身の半生を振り返りながら、90 年代のことを綴る。

毎日新聞　2019/01/13

2018:11./ 139p
978-4-904816-30-1
本体 ¥1,600+税

本屋、はじめました～新刊書店 Title 開業の記録～
辻山　良雄 著
苦楽堂
物件探し、店舗デザイン、イベント、ウェブ、そして「棚づくり」の実際まで。個人で新刊書店 Title を開いた辻山良雄が、本屋をつくるにはどうすればよいのかを綴る。堀部篤史(誠光社店主)との対談も収録。

毎日新聞 2019/01/13

2017:1./ 219p,20p
978-4-908087-05-9
本体 ¥1,600+税

鶴見俊輔伝
黒川　創 著
新潮社
戦後日本を代表する思想家・鶴見俊輔。幼少期から半世紀にわたり鶴見の間近で過ごした著者が、全著作と関連文献を繙き、稀代の哲学者を育んだ家と時代、「ベ平連」の活動から老年の態度まで、93 年の歩みと思想を跡づける。

毎日新聞 2019/01/13、朝日新聞 2019/01/19

2018:11./ 545p,21p
978-4-10-444409-0
本体 ¥2,900+税

ぼくの伯父さん～長谷川四郎物語～
福島　紀幸 著
河出書房新社
戦前の解放感ただよう港町・函館で生まれ育ち、就職して満州に渡り、軍隊とシベリア抑留を経て帰国、文学・芸術運動へ-。小説だけでなく、詩・童話・戯曲を書き、絵を描き、翻訳もした、作家・長谷川四郎の足跡をたどる。

毎日新聞 2019/01/13、日本経済新聞 2019/01/26

2018:12./ 555p,6p
978-4-309-02748-7
本体 ¥4,400+税

大正行進曲～うたで描くエポック～(gift10 叢書　第 14 篇)
福島　泰樹 著
現代短歌社
号外のベルやかましき停車場に堀口大學その若き友　大正時代を生きた人々に抉るような傷を与えた大逆事件。時代が再びきな臭さを増す今日、福島泰樹の眼の前に、死者がよみがえり…。『現代短歌』連載を再構成した第 31 歌集。

毎日新聞 2019/01/14

2018:11./ 248p
978-4-86534-244-4
本体 ¥3,000+税

創られた明治、創られる明治～「明治 150 年」が問いかけるもの～
歴史教育者協議会　編
岩波書店
「明治 150 年」を契機に創られつつある歴史像の何が問題なのか。「明治 100 年」で創り出された歴史像との比較を踏まえ、徹底的に検証する。2018 年 3 月開催のシンポジウムをもとに書籍化。

毎日新聞 2019/01/20

2018:12./
15p,250p,7p
978-4-00-023902-8
本体 ¥2,600+税

日米安保体制史(岩波新書　新赤版　1741)
吉次　公介 著
岩波書店
「非対称性」「不平等性」「不透明性」「危険性」という日米安保体制の構造は、どのように形成され、変容・持続してきたのか。最新の研究成果を踏まえて、不安定な「逆ピラミッド」というべき安保体制の全歴史を描き出す。

毎日新聞 2019/01/20

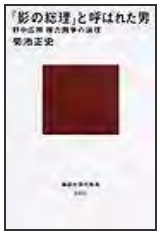
2018:10./
15p,219p,28p
978-4-00-431741-8
本体 ¥860+税

MARUZEN-YUSHODO

新書アフリカ史　改訂新版(講談社現代新書　2503)
宮本　正興、松田　素二　編
講談社
民族・文明の興亡を壮大なスケールで描くアフリカ入門書。「アフリカからみた世界史像」を捉え、人類史全体をダイナミックに再考する。現代アフリカについて大幅に加筆した改訂新版。

毎日新聞 2019/01/20

2018:11./ 776p
978-4-06-513948-6
本体 ¥1,800+税



「影の総理」と呼ばれた男～野中広務 権力闘争の論理～(講談社現代新書　2507)
菊池　正史　著
講談社
戦争は二度と起こさない-。権力闘争に挑み続け、「影の総理」「政界の狙撃手」と恐れられた野中広務。強面の政治家が生涯を賭けて守ろうとしたものとは。戦争体験を起点にして、野中という政治家の道筋を辿り直す。

毎日新聞 2019/01/20

2018:12./ 270p
978-4-06-514232-5
本体 ¥880+税

三四郎　改版(新潮文庫)
夏目　漱石　著
新潮社
毎日新聞 2019/01/20

1988:1./ 298p
978-4-10-101004-5
本体 ¥340+税

家をセルフでビルドしたい～大工経験ゼロの俺が 3LDK 夢のマイホームを 6 年かけて建てた話～
阪口　克　著
文藝春秋
自分の家を自分で建てる-。大工経験ゼロで無謀な夢へ突進した、アラフォーカメラマンの 6 年にわたる悪戦苦闘セルフビルドの記録。定点観測写真、嫁のひとりごと、建築費用も掲載。

毎日新聞 2019/01/20

2018:11./ 289p
978-4-16-390937-0
本体 ¥1,650+税

日本文学全集<05> 源氏物語
池澤　夏樹、紫式部、角田　光代　著
河出書房新社
池澤夏樹個人編集による日本文学全集。05 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「玉鬘」から「幻」までを、角田光代による完全新訳で収録する。解説付き。

毎日新聞 2019/01/20

2018:11./ 661p
978-4-309-72875-9
本体 ¥3,500+税

「その日暮らし」の人類学～もう一つの資本主義経済～(光文社新書　829)
小川　さやか　著
光文社
「貧しさ」がないアマゾンの先住民、気軽に仕事を転々とするアフリカ都市民、海賊行為が切り開く新しい経済・社会…。気鋭の文化人類学者が、「その日暮らし」という生き方を明らかにする。『小説宝石』連載を加筆・修正。

毎日新聞 2019/01/20

2016:7./ 222p
978-4-334-03932-5
本体 ¥740+税

MARUZEN-YUSHODO

チャンドス卿の手紙/アンドレアス(光文社古典新訳文庫　KA ホ 7-1)
ホーフマンスタール 著
光文社
言葉はウソをつくから当てにならない、と気づいたチャンドス卿が、もう書かないという決心を流麗な言葉で伝える「チャンドス卿の手紙」など、世紀末ウィーンの天才ホーフマンスタールを代表する散文 5 編を収録。

毎日新聞 2019/01/20

2018:11./ 264p
978-4-334-75388-7
本体 ¥880+税

イーヴリン・ウォー伝 人生再訪
フィリップ・イード、高儀 進 著
白水社
20 世紀のイギリス文学を代表する作家イーヴリン・ウォー。イギリスの伝記作家が、初公表された書簡、日記、未発表原稿、回想録、友人の思い出話などを駆使して、巨匠の生涯を活写する。

毎日新聞 2019/01/20

2018:10./ 516p,80p
図版 24p
978-4-560-09660-4
本体 ¥8,500+税

アフリカ社会を学ぶ人のために
松田 素二 編
世界思想社
多様な民族・言語・生態環境をもつアフリカが体系的にわかる入門書。アフリカの経験してきた過去・困難・絶望のなかから、アフリカの潜在力を描きだし、人類社会の希望と可能性を展望する。

毎日新聞 2019/01/20

2014:3./ 311p
978-4-7907-1616-7
本体 ¥2,300+税

ファッションと哲学～16 人の思想家から学ぶファッション論入門～
アネケ・スメリク 編
蘆田 裕史、安齋 詩歩子、大久保 美紀、小林 嶺、西條 玲奈、関根 麻里恵、原山 都和丹、平芳 裕子、藤嶋 陽子、山内 朋樹 著
フィルムアート社
哲学から読み解く新しいファッション論入門。マルクスからラトゥール、バトラーまで、16 人の思想家を取り上げ、その思想や概念を通して、衣服・外見・スタイルといった広い意味で用いられる「ファッション」について論じる。

毎日新聞 2019/01/20

2018:12./ 466p,42p
978-4-8459-1716-7
本体 ¥3,000+税

紫の雲(ナイトランド叢書 3-4)
M.P.シール、南條 竹則 著
書苑新社
邪恋と功名心に駆られ、北極点を目指すアダム。だが、何処からか毒の雲が立ち昇り、地上の動物は死に絶えた。ひとり死を免れたアダムは、孤独と闘いつつ世界中を旅する。生存者を求めて-。幻想文学の金字塔。

毎日新聞 2019/01/20

2018:12./ 319p
978-4-88375-336-9
本体 ¥2,400+税

辞書編集、三十七年
神永　曉　著
草思社
辞書編集とは“刑罰”である。辞書編集ひと筋 37 年、「日本国語大辞典」の元編集長による苦難と歓喜の回想録。「辞書と闇社会の深い関係」「「ともかく」と「とにかく」はどう違うか」など、興味深い辞書と日本語話も満載。

毎日新聞 2019/01/20、産経新聞 2019/01/27

2018:12./ 295p
978-4-7942-2370-8
本体 ¥1,800+税

骨まで愛して～粗屋五郎の築地物語～
小泉　武夫　著
新潮社
築地の有名マグロ解体人だった五郎が満を持して開店したのは、日本唯一の粗料理専門店。鰤大根、烏賊の腸煮、皮?の肝和え…。魚河岸人生で磨かれた名物料理の数々は、人々の舌を口福で満たしていく。人情小説。

毎日新聞 2019/01/20、朝日新聞 2019/01/26

2018:12./ 184p
978-4-10-454806-4
本体 ¥1,300+税

憲法講話(岩波文庫 34-032-1)
美濃部　達吉　著
岩波書店
憲法学者・美濃部達吉が、明治憲法を一般読者へ向けて体系的に講義した書。天皇は国家の最高機関であるとする天皇機関説を打ち出し、のちに国禁とされた美濃部学説の原点を知る上でも重要な著作。1918 年の改訂版を収録。

毎日新聞 2019/01/27

2018:11./ 595p,10p
978-4-00-340321-1
本体 ¥1,440+税

俳句歳時記<春> 第 5 版(角川ソフィア文庫 D109-6)
角川書店　編
KADOKAWA
和歌以来の伝統の季語から近年の新しい季語まで、1965 語を収録。上級者でも間違いやすい作句のポイントを追加し、例句を大幅に見直し、新しく 600 余句を収録した第 5 版。実作に役立つ付録付き。

毎日新聞 2019/01/27

2018:2./ 269p
978-4-04-400271-8
本体 ¥560+税

志ん生が語るクオリティの高い貧乏のススメ～昭和のように生きて心が豊かになる 25 の習慣～(講談社+α 新書 805-1A)
美濃部　由紀子　著
講談社
空気なんざあ読まねえで、?も方便で生きなよ-。時に大胆に時にサラリと生き抜いた志ん生や、その薫陶を受けたふたりの息子、馬生と志ん朝の生き様やライフスタイル、考え方から、心豊かに生きるためのヒントを探る。

毎日新聞 2019/01/27

2019:1./ 206p
978-4-06-513629-4
本体 ¥840+税

謝るなら、いつでもおいで～佐世保小六女児同級生殺害事件～(新潮文庫 か-82-1)
川名　壮志　著
新潮社
世間を震撼させた「佐世保小 6 同級生殺害事件」。新聞社の支局長だった被害者の父親の部下であり、約 10 年にわたり取材を続けた記者が、事件や被害者家族について、新聞には書ききれなかった話を綴る。

毎日新聞 2019/01/27

2018:6./ 359p
978-4-10-121461-0
本体 ¥590+税

MARUZEN-YUSHODO

なぜ君は絶望と闘えたのか～本村洋の 3300 日～(新潮文庫)
門田　隆将 著
新潮社
毎日新聞 2019/01/27

2010:8./ 348p
978-4-10-123142-6
本体 ¥590+税

謎とき『風と共に去りぬ』～矛盾と葛藤にみちた世界文学～(新潮選書)
鴻巣　友季子 著
新潮社
「風と共に去りぬ」を新たに翻訳した著者ならではの精緻なテクスト批評に、作者ミッチェルとその一族のたどった道のりを重ね合わせ、古典名作の「読み」を切り拓く。『yomyom』『新潮』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2019/01/27

2018:12./ 283p
978-4-10-603835-8
本体 ¥1,300+税

スピノザ『エチカ』～「自由」に生きるとは何か～(NHK テキスト)
國分　功一郎、NHK 出版 編
國分　功一郎 著
NHK出版
毎日新聞 2019/01/27

2018:12./ 115p
978-4-14-223093-8
本体 ¥524+税

心にナイフをしのばせて(文春文庫)
奥野　修司 著
文芸春秋
毎日新聞 2019/01/27

2009:4./ 325p
978-4-16-775367-2
本体 ¥650+税

コジマの日記～リヒャルト・ワーグナーの妻～<1>　1869.1～1870.5
コジマ・ワーグナー 著
東海大学出版部
ワーグナーの後半生における無二の伴侶、コジマ。彼女は、ワーグナーと生活を共にした 14 年間の全期間を通じて、営々と日記を書き継いだ。同棲を始めて間もない 1869 年 1 月から、1870 年 5 月までのものを収録。

毎日新聞 2019/01/27

2007:1./ 639p
978-4-486-01736-3
本体 ¥6,800+税

コジマの日記～リヒャルト・ワーグナーの妻～<2>　1870.6～1871.10
コジマ・ワーグナー 著
東海大学出版部
ワーグナーの後半生における無二の伴侶、コジマ。彼女は、ワーグナーと生活を共にした 14 年間の全期間を通じて、営々と日記を書き継いだ。2 巻は 1870 年 6 月から、1871 年 10 月までのものを収録。

毎日新聞 2019/01/27

2009:8./ 661p
978-4-486-01851-3
本体 ¥6,800+税

コジマの日記～リヒャルト・ワーグナーの妻～<3>　1871.11～1873.4
コジマ・ワーグナー　著
東海大学出版部
ワーグナーの後半生における無二の伴侶、コジマ。彼女は、ワーグナーと生活を共にした 14 年間の全期間を通じて、営々と日記を書き継いだ。3 巻は 1871 年 11 月から、1873 年 4 月までのものを収録。

毎日新聞 2019/01/27

2017:10./ 6p,679p
978-4-486-02123-0
本体 ¥6,800+税

プラハ、二〇世紀の首都～あるシュルレアリスム的な歴史～
デレク・セイヤー、阿部　賢一、河上　春香、宮崎　淳史　著
白水社
「ヨーロッパの十字路」として、幾多の変容を経てきた都市プラハ。中欧の都に花開いた文学、美術、音楽、写真、演劇、建築、デザインなどを論じ、プラハを「20 世紀の首都」として位置づける。

毎日新聞 2019/01/27

2018:9./ 579p,143p
978-4-560-09582-9
本体 ¥13,500+税

抽象の力～近代芸術の解析～
岡崎　乾二郎　著
亜紀書房
近代芸術はいかに展開したか。20 世紀美術を動かした、真の芸術家たちは誰か。戦後美術史の不分明を晴らし、その力を発揮するはずの抽象芸術の可能性を明らかにする。雑誌掲載記事などに書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2019/01/27

2018:11./ 417p,20p
978-4-7505-1553-3
本体 ¥3,800+税

フェティッシュとは何か～その問いの系譜～
ウィリアム・ピーツ、杉本　隆司　著
以文社
西洋文明と「未開社会」の接触によって生まれた“フェティッシュ”と、その後、原始宗教として蔑まれた“フェティシズム”の誕生の歴史を検証。モノが信仰と欲望の対象となり、商品/貨幣となる、価値創造の謎に迫る。

毎日新聞 2019/01/27

2018:8./ 212p
978-4-7531-0347-8
本体 ¥2,700+税

生物多様性は復興にどんな役割を果たしたか～東日本大震災からのグリーン復興～(地球研叢書)
岸上　祐子　編
昭和堂
甚大な被害を前に「生物多様性」に耳を傾ける人がいるのか。とまどいながら被災地に入った生態学者と仲間たちが現場で出会ったのは…。各地の経験から「海と田んぼからのグリーン復興」の可能性を探る。

毎日新聞 2019/01/27

2018:11./ 9p,208p
978-4-8122-1734-4
本体 ¥2,300+税

俳句ねこ
沖　昌之、倉阪　鬼一郎　著
ホーム社
テノールかバスか春のねこ独唱　黒猫の影も黒ねこ日の盛り　露なめて白猫いよよ白くなる　四季折々の自由なねこたちの表情を写し撮った写真に、俳句を添えた写真集。各句に季語の説明付き。

毎日新聞 2019/01/27

2018:12./ 94p
978-4-8342-5326-9
本体 ¥1,400+税

魂の新聞～『沖縄戦新聞』沖縄戦の記憶と継承ジャーナリズム～
藤原健 著
琉球新報社
毎日新聞 2019/01/27

2018:12./ 398p
978-4-89742-238-1
本体 ¥2,315+税

新興俳句アンソロジー～何が新しかったのか～
現代俳句協会青年部 編
ふらんす堂
新興俳句とは何であったか? 新興俳句運動やその作家について知り、考える手引きとなる書。新興俳句作家 44 人に関する評論と 100 句抄に加え、新興俳句にまつわる 13 のコラムを収録する。

毎日新聞 2019/01/28

2018:12./ 430p
978-4-7814-1136-1
本体 ¥2,400+税